

平成 30 年度

事業報告書および決算報告書

平成30年 4月 1日から
平成31年 3月31日まで

公益財団法人 日本ソフトテニス連盟

【目次】

○事業報告

I. ソフトテニスの普及振興事業

1 ソフトテニス競技規則等の制定事業	1
2 全日本ソフトテニス選手権大会等開催	1～2
3 地域ソフトテニス大会支援	2～3
4 加盟団体が行うソフトテニスの競技力向上と普及振興支援	3
5 ソフトテニスの広報活動	4～5
6 ソフトテニスの表彰・顕彰	5～16
7 ソフトテニスの技術等級・指導員資格認定に関する事業	17
8 ソフトテニスの審判員資格認定に関する事業	17～18
9 ソフトテニス用具・用品、施設の公認	18
10 普及振興のための医科学研究事業	18～19

II. ソフトテニスの競技力向上事業

1 ソフトテニスの競技力向上、医科学研究調査	19～26
2 ソフトテニスの指導者育成	26～27

III. ソフトテニスの国際振興事業

1 ソフトテニスの国際振興	28
---------------	----

[各事業を推進するための組織と財政の強化]

1. 組織と財政の強化	29
1 組織と財政の強化の推進	29
2 総務委員会企画部会の発足	29
3 各年代における登録人口の増加への取組み	29
4 環境と教育への取組み	29
5 会員登録制度の推進	30
6 暴力行為の根絶	30
7 加盟団体会長会議の開催	30

(庶務事項)

1 評議員会に関する事項	31
2 理事会に関する事項	31～34
3 業務執行に関する事項	34～38
4 専門委員会等に関する事項	38～39
5 役員・事務局職員に関する事項	40～49
6 会員登録に関する事項	50
7 分担金に関する事項	50～51

8 補助金・助成金等に関する事項	52
9 寄付金・協賛金に関する事項	52
10 傷害補償制度の給付金に関する事項	53
別表 1～4 (大会一覧表・技術等級認定実績・公認審判員認定実績・会員登録実績)	54～60

○決算報告書

1. 財務諸表等

(1) 貸借対照表	61
(2) 正味財産増減計算書	62
(3) 正味財産増減計算書内訳表	63～64
(4) 財務諸表の注記	65～66
(5) 附属明細書	67
(6) 財産目録	68
独立監査人の監査報告書	69～70
監査報告書	71

平成 30 年度事業報告

1 事業報告

本連盟は、昭和 58 年（1983 年度）以来、ソフトテニスの一層の普及振興を図るため、将来像の基本となる方向性を示す長期基本計画（5 年）を策定し、その方針に沿って総合的かつ計画的に事業推進に取り組んできた。

平成 30 年度においても、公益財団法人としての高い社会的信用を維持するべく、ソフトテニスの普及振興、国民の心身の健全な発展への寄与を目的とし、「ソフトテニスの普及振興事業」「ソフトテニスの競技力向上事業」「ソフトテニスの国際振興事業」に係わる事業を積極的かつ効果的に実施した。

I. ソフトテニスの普及振興事業

1. ソフトテニス競技規則等の制定事業

- (1) ソフトテニス競技の振興と競技性の向上等、より安全に楽しく競技できるよう、必要に応じてハンドブックの見直しについて検討を重ねた。今後も更に検討を重ね、ソフトテニスハンドブック（競技規則、審判規則、大会運営規則）やジュニア審判マニュアルに反映を図ることとした。
- (2) テニスコート基準の改訂を検討し、ASTF 会議に提案した。
- (3) ASTF におけるリーダー国として、英語版審判技術マニュアル（DVD）等を活用して国際競技規則の国際普及の推進を図った。

2. 全日本ソフトテニス選手権大会等開催

- (1) 国内競技会を大会実施要項に基づき実施した。
 - ①平成 30 年度各大会実施要項に基づき、各種大会を実施した。
(別表 P54～57)
 - ②国民体育大会種別参加チーム数のローテーションにより種別参加チーム数の改訂を行った。
 - ③大会要項の改定
 - ア. 全日本シングルス選手権大会の参加数を改定した。
 - イ. 全日本社会人選手権大会および全日本シニア選手権大会の種別を変更した。
- (2) 大会の検討と大会運営の改善
 - ①第 18 回アジア競技大会日本代表選手予選会をシングルス種別で実施した。
 - ②全日本シングルス選手権大会
参加資格として前年度全日本選手権大会ベスト 8 を追加して実施した。
 - ③全日本社会人選手権大会及び全日本シニア選手権大会の種別の変更
 - ア. 全日本シニア選手権大会のダブルス男子・女子ともに 45 歳以上を全日本社会人選手権大会に移行した。全日本社会人選手権大会は「ダブルス一般男子・一般女子」「ダブルス 35 歳以上男子・35 歳以上女子」「ダブルス 45 歳以上男子・45 歳以上女子」の 6 種別で実施した。
 - イ. 全日本社会人選手権大会に 45 歳以上の種別が移行したことにより、全日本シニア選手権大会においてミックスダブルス 45 歳以上は開催しなかった。
 - ④新規全日本大会の検討
 - ・全日本団体選手権大会の開催に向けて検討をしてきたが、会場や日程の問題などを鑑み、今後の検討を中止とした。
 - ・全日本ミックスダブルス選手権大会は実施する方向で継続して検討した。

⑤日本スポーツマスターズ大会

北海道胆振東部地震の影響により中止となった。

⑥大会参加申込のシステム化

主催大会の参加申込システム活用により、参加資格のチェック等による事務負担軽減と参加申込の効率化を図った。併せて加盟団体大会申込についても本システム活用を推進し、加盟団体の事務負担軽減と効率化を図った。

⑦主催大会開催

主催大会を主管し、運営する開催地との連携を深め、主要事業である大会が円滑に運営されるようにした。

⑧ゼッケンの着用

日本連盟主催大会において、統一ゼッケン(3段)の着用を継続実施し、四隅で留めることを徹底した。

⑨簡易得点板の設置

日本連盟主催大会において簡易得点板の利用を実施した。

⑩大会審判のワッペン着用の義務化

大会時に審判を行う際にワッペンを左胸に着用させ、審判員の意識向上を図った。

⑪ユニフォーム等の着用基準

利用者のニーズと合致した基準に改訂するとともに、Q&Aを作成し、改訂内容のわかりやすい説明と運用に努めた。

⑫個人戦の組み合わせの事前公開

これまで当日公開であった個人戦の組み合わせについて、事前公開を実施した。対象大会は、天皇賜杯皇后賜杯全日本選手権大会、全日本社会人選手権大会、全日本シングルス選手権大会とした。2019年度より日本連盟主催の全ての大会において事前公開を実施することとした。

⑬ペアのユニフォーム統一

ダブルス時のペアのユニフォームを統一し、かつ対戦相手と異なるカラーを着用するよう奨励した。

⑭試合経過の配信

広報推進の観点から、試合経過をホームページで速報配信した。

⑮日本連盟主催大会のあり方について

開催地の負担を軽減する方法について検討した。

⑯選手変更方法について

個人戦および団体戦における選手変更方法を見直し、2019年度大会より実施することとした。

⑰日本スポーツ振興センターの助成事業として以下の大会を実施した。

ア. JOC ジュニアオリンピックカップ大会／全日本ジュニア選手権大会	助成金 1,333,000 円
イ. 天皇賜杯皇后賜杯全日本選手権大会	助成金 2,801,000 円

3. 地域ソフトテニス大会支援

(1) 地域等における競技会開催に、次のとおり補助を行った。

① 全日本大学選手権大会	1,000,000 円
--------------	-------------

② 全日本高校選手権大会	1,000,000 円
③ 全国中学校大会	697,630 円
④ 東日本選手権大会	500,000 円
⑤ 西日本選手権大会	500,000 円
⑥ 全日本学生インドア大会	500,000 円
⑦ 全日本学生王座決定戦	500,000 円
⑧ 全日本レディース大会（個人戦）	500,000 円
⑨ 全日本レディース決勝大会	500,000 円
⑩ ハイスクールジャパンカップ	300,000 円
⑪ 9 地区選手権大会	9 地区× 200,000 円
⑫ 地区高校選抜大会	9 地区× 100,000 円
⑬ 地区中学選手権大会	9 地区× 100,000 円
⑭ 全日本シニア東西対抗大会	400,000 円
⑮ 全日本学生同好会大会	200,000 円

4. 加盟団体が行うソフトテニスの競技力向上と普及振興支援

(1) 地域グループ育成のため、次の事業を実施した。

①地域クラブ・ジュニアクラブ等の育成

・地域クラブ、ジュニアクラブ等の育成の充実を図ることを目的として、都道府県の加盟団体に対し会員登録料から下記の率により助成した。

(一般 20%、高校生 10%、高専 10%、中学生 20%、小学生 50%)

②支部中学校大会への補助

46 都道府県×@30,000 円を助成した。

③支部小学生大会への補助

46 都道府県×@30,000 円を助成した。

④ソフトテニス週間の実施

ソフトテニス週間事業については、46 都道府県において実施され、実施都道府県に 100,000 円を助成した。

10月の体育の日を中心とした日程で大会や記念イベントがおこなわれ、世代を超えた交流が図られた

⑤ソフトテニス愛好者増加対策

・ソフトテニス愛好者増加対策について、全47都道府県において実施され、全都道府県に 150,000 円を助成した。

⑥指導者バンク（地域）の活用促進

・地域の有資格指導者の競技者育成プログラム(Step-1、2)への関わり方および指導者の活用方法を検討した。

⑦傷害補償制度の徹底

・評議員会や各種会議、ホームページ等で制度を広く伝え制度活用の推進を図るとともに、受傷者に対し給付金の支払いを実施した。

5. ソフトテニスの広報活動

(1) メディア対策

- ・大会等のイベント実施事前の資料提供を積極的に行った。
- ・メディア対応マニュアルの作成については現在作成継続中であり、加盟団体に提供できるように準備している。
- ・平成 13 年より継続している全日本選手権大会のテレビ放送を 18 年連続実施した。
- ・アジア競技大会の代表選手の記者発表を実施した。

(2) ホームページの運営

より見やすく、内容がよりわかりやすくするためのホームページの改訂を行った。

- ・各主催大会において試合結果(途中経過も含む)や記録・写真・動画の速報配信を行った。
- ・日本連盟 TV 及び各加盟団体 TV の映像を通じて積極的な動画配信の広報活動を実施した。
- ・ホームページのスマートフォン対応を図り、より親しみやすい画面に刷新した。

(3) 広報誌発行

①機関誌「ソフトテニス」の毎月発行

- ・内容充実を図り、多くの皆さんに親しんでもらえるように作成した。

購読者数	支部購読	1,259 名	個人購読	172 名
(平成 29 年度)	支部購読	1,197 名	個人購読	197 名

- ・加盟団体からのニュース等の掲載を円滑にするため、原稿提供方法とデータ形式について周知徹底した。

②会員報を年 2 回発行した。

③平成 30 年大会記録集を作成し、加盟団体や報道機関等へ配布した。

(4) 「ソフトテニスの歌」の活用

- ・日本連盟主催事業での活用と、加盟団体主催事業での活用依頼を行った。
- ・ソフトテニスの歌「ウイニングショット」、ソフトテニス応援歌「青空背負って」の活用を呼びかけた。

(5) ソフトテニスのアピールと周知

①ソフトテニスの映画「案山子とラケット」の DVD および BD の周知を行った。

②ロゴマークおよびマスコットキャラクター「そふていー」の活用

- ・小学生の大会およびその他の大会、また加盟団体主催のイベント等においても積極的に「そふていー」を登場させ、ソフトテニスを広くアピールした。
- ・ロゴマークの PR をして印刷物等で活用した。

③SNS を活用した広報活動の推進について検討した。

(6) 全国広報担当者実務研修会の開催

期 日 平成 31 年 3 月 16 日 (土) 13 時

会 場 アワーズイン阪急会議室

参加数 日本連盟 7 名、各加盟団体からの参加者 43 名

内 容 ①平成 30 年度広報活動について

- ・各大会における事前広報およびメディア対応について
- ・全日本選手権大会における広報活動について

- ・オンデマンド放送について
- ・ホームページ運営について
- ・機関誌発行について
- ②都道府県連盟における広報活動実務について
- ③大会結果速報のための動画・静止画撮影留意事項

6. ソフトテニスの表彰・顕彰

平成30年12月1日（土）に、京都タワーホテルにおいて平成30年度の表彰式を実施した。

本部功労者を代表して野際照章氏（京都府）、支部功労者を代表し、福井県支部功労者の代理として川畑茂評議員、優良団体の中からワタキューセイモアを代表して牧野伸一氏、最優秀選手およびランキング選手を代表して船水颯人選手（早稲田大学）および林田リコ選手（東京女子体育大学）に賞状等を授与した。

表彰の内訳は、次のとおりである。

（1）国際大会入賞者表彰（敬称略）

第18回アジア競技大会

団長：北本英幸

①国別対抗 日本女子チーム 優勝

監督：斉藤広宣 コーチ：高川経生 トレーナー：川上晃司

選手：林田リコ 半谷美咲 高橋乃綾 尾上胡桃 黒木瑠璃華

日本男子チーム 準優勝

監督：中堀成生 コーチ：川村達郎 トレーナー：田中京介

選手：船水颯人 上松俊貴 丸中大明 長江光一 増田健人

②女子シングルス 優勝：高橋乃綾

③ミックスダブルス 第3位：林田リコ・上松俊貴ペア

（2）国内関係表彰

1 本部功労者	3名
2 支部功労賞	90名
3 優良団体	45団体
4 最優秀監督および優秀監督	16名
5 最優秀選手および優秀選手、敢闘選手	12名
6 ランキング	504名
7 日本スポーツ賞	1チーム
8 JOC ジュニアオリンピックカップ	2名

（3）表彰者名簿（敬称略）

1. 本部功労者	野際 照章	（日本連盟専務理事）
	神崎 公宏	（日本連盟理事）
	北本 英幸	（日本連盟理事）

2. 支部功労者 別紙参照

3. 優良団体 別紙参照

4. 優秀監督

最優秀監督	実業団	男子	堀 晃大 (NTT西日本)	
		女子	松口 友也 (ヨネックス)	
	大 学	男子	櫻井 智明 (明治大学)	
		女子	武田 博子 (東京女子体育大学)	
	高 校	男子	紙森 隆弘 (高田商業高校)	
		女子	江口 直樹 (昇陽高校)	
	中 学	男子	高橋 茂 (清明学園中学校)	
		女子	後藤 明弘 (山陽女子中学校)	
	優秀監督	実業団	男子	中村 謙 (ヨネックス)
			女子	百町 善明 (ワタキューセイモア)
大 学		男子	小野寺 剛 (早稲田大学)	
		女子	篠原 秀典 (日本体育大学)	
高 校		男子	白幡 光 (羽黒高校)	
		女子	村田真紀乃 (三重高校)	
中 学		男子	小牧 幸二 (上宮中学校)	
		女子	高原 良江 (昭和学院中学校)	

5. 優秀選手

最優秀選手	男 子	船水颯人 (早稲田大学)・上松俊貴 (早稲田大学)
	女 子	林田リコ (東京女子体育大学)・宮下こころ (明治大学)
優秀選手	男 子	安藤優作 (早稲田大学)・内田理久 (早稲田大学)
	女 子	志牟田智美 (東芝姫路)・泉谷朋香 (東芝姫路)
敢闘選手	男 子	中本圭哉 (福井県庁)・鈴木琢巳 (福井県庁)
	女 子	中川瑞貴 (ナガセケンコー)・芝崎百香 (ナガセケンコー)

6. ランキング選手 別紙参照

7. 国際大会入賞者 別紙参照

8. 日本スポーツ賞 第18回アジア競技大会女子代表チーム

9. JOC ジュニアオリンピックカップ

最優秀選手	男子	上松俊貴 (早稲田大学)
	女子	林田リコ (東京女子体育大学)

平成30年度 支部功労者・優良団体

(敬称略)

	支 部 名	支 部 功 労 者	支 部 功 労 者	優 良 団 体
1	北海道	更科 功	糸地 正	名寄ソフトテニス連盟
2	青森	風穴 武寿	和田 秀哉	東北町ソフトテニス協会
3	岩手	日野 正康	五十嵐 敏幸	花巻市ソフトテニス協会
4	宮城	伊藤 秋則	菅原 信行	東北大学OBクラブ
5	秋田	福田 浩	三浦 智文	森吉中学校ソフトテニス部
6	山形	内山 晴道	佐藤 研治	新庄地区ソフトテニス連盟
7	福島	佐藤 和之	江尻 久三	西郷村立西郷第一中学校
8	茨城	豊田 富美子	蛭田 千代	高萩クラブ
9	栃木	長井 周彦	海老沼 伸夫	大田原クラブ
10	群馬	小見 孝夫	大塚 恵美子	あかぼりJST
11	埼玉	小杉 誠	松波 均	鳩ヶ谷クラブ
12	千葉	堀越 浩	佐瀬 博	佐倉クラブ
13	東京	源平 英樹	小八木 利実	日野自動車
14	神奈川	中村 勝	福室 祐子	せせらぎクラブ
15	山梨	島田 基樹	藤本 克巳	甲斐市立敷島中学校ソフトテニス部
16	新潟	兼田 忠啓	渡辺 耕二	新潟トキめきクラブ
17	長野	寺島 英雄		サービスエース飯島
18	富山	高林 外広	村上 義和	富山ソフトテニスクラブ
19	石川	東 晴信	架間 洋子	
20	福井	北川 俊幸	松浦 佐太雄	武生高等学校女子ソフトテニス部
21	静岡	小林 正	菊池 孝典	大東クラブ
22	愛知	日比野 義和	石原 達也	大同大学大同高等学校
23	三重	板羽 正則		
24	岐阜	神谷 俊行	横山 元茂	関クラブ
25	滋賀	木口 博文	中村 雅幸	滋賀21クラブ
26	京都	森中 松雄	村上 容子	ワタキューセイモア株式会社ソフトテニス部
27	大阪	北野 一彦	成田 扶美代	箕面クラブ
28	兵庫	住友 康江	國司 直樹	神戸税関
29	奈良	新子 雅央	吉川 精二	高円クラブ
30	和歌山	渡海 聡	淵上 信行	ソフトテニスあおぞらクラブ
31	鳥取	近藤 一樹	砂口 賢	ハワイクラブ
32	島根			大田市立第一中学校ソフトテニス部
33	岡山	津島 敏文	森 博史	三石スポーツ少年団
34	広島			どんがめクラブ
35	山口	村重 光範	米満 寛之	永源ソフトテニスクラブ
36	徳島	櫛田 雅弘	渡辺 須摩子	阿波ソフトテニスクラブ
37	香川	田万 豊廣		香川高専詫間キャンパス
38	愛媛	田坂 信一	辻 喜千治	愛媛小学生ソフトテニス連盟
39	高知	有友 昭一	瀬戸 隆弘	四電クラブ
40	福岡			
41	佐賀	神近 正	田川 恵美	嬉野市ソフトテニス協会
42	長崎	吉武 俊雄	平 智和	
43	熊本	中本 セイ子	本嶋 芙美子	わいわいG熊本
44	大分	江利角 富美子	安達 伸子	まいづる鶴翔会
45	宮崎	中武 稔	太田 知英子	延岡市立東海中学校男子ソフトテニス部
46	鹿児島	福留 明人	米山 千草	薩摩川内市ソフトテニス連盟
47	沖縄	松本 健	長堂 弘	嘉手納軟式庭球クラブ
48	日本学連	吉岡 健一	川崎 哲郎	早稲田大学
49	高体連	早川 真司	小山 恵	高崎健康福祉大学高崎高等学校女子ソフトテニス部
50	中体連	林 昭文		
	合 計		90名	45団体

平成30年度 ソフトテニスランキング

(敬称略)

総 合 男 子				総 合 女 子			
1	船水 颯人 上松 俊貴	日本学連	早稲田大学	1	林田 リコ 宮下 こころ	日本学連	東京女子体育大学 明治大学
2	安藤 優作 内田 理久	日本学連	早稲田大学	2	志牟田 智美 泉谷 朋香	兵庫	東芝姫路
3	中本 圭哉 鈴木 琢巳	福井	福井県庁	3	中川 瑞貴 芝崎 百香	東京	ナガセケンコー
4	丸中 大明 長江 光一	広島	N T T 西日本	4	笠井 佑樹 尾上 胡桃	日本学連	日本体育大学
5	林田 和樹 柴田 章平	東京	ヨネックス	5	徳川 愛実 草野 絵美菜	東京 群馬	ヨネックス P a l a i s t r a
6	船水 雄太 水澤 悠太	広島	N T T 西日本	5	森田 奈緒 黒木 瑠璃華	東京	ヨネックス
7	村上 雄人 林 大喜	広島	N T T 西日本	7	木谷 優美 高杉 梨奈	福井	福井S Tクラブ
7	増田 健人 九島 一馬	和歌山 大阪	和歌山県庁 ミズノ	8	高橋 乃綾 半谷 美咲	広島	どんぐり北広島
9	村田 匠 広岡 宙	広島	N T T 西日本	9	植田 幸寿保 石井 友梨	京都	ワタキューセイモア
10	西川 智 中原 寛海	広島	マツダ	9	塚川 優女 地中 葵	日本学連	神戸松蔭女子学院大学

平成30年度 ソフトテニスランキング

(敬称略)

社 会 人 男 子				社 会 人 女 子			
1	丸 中 大 明 長 江 光 一	広島	N T T 西 日 本	1	中 川 瑞 貴 芝 崎 百 香	東京	ナガセケンコー
2	西 川 智 中 原 寛 海	広島	マ ッ ダ	2	木 谷 優 美 高 杉 梨 奈	福井	福 井 S T ク ラ ブ
3	林 田 和 樹 柴 田 章 平	東京	ヨ ネ ッ ク ス	3	高 橋 乃 綾 半 谷 美 咲	広島	ど ん ぐ り 北 広 島
3	船 水 雄 太 水 澤 悠 太	広島	N T T 西 日 本	3	岡 本 愛 佳 大 槻 麗	東京 福島	八 王 子 庭 球 ク ラ ブ ダ ン ロ ッ プ
5	塩 寄 弘 騎 花 田 周 弥	和歌山	和 歌 山 県 庁	5	三 隅 は す は 富 田 真 愛	広島	ど ん ぐ り 北 広 島
5	白 井 拓 巳 堂 野 貴 寛	埼玉	ア キ ム	5	徳 川 愛 実 草 野 絵 美 菜	東京 群馬	ヨ ネ ッ ク ス P a l a i s t r a
5	村 上 雄 人 林 大 喜	広島	N T T 西 日 本	5	森 田 奈 緒 黒 木 瑠 璃 華	東京	ヨ ネ ッ ク ス
5	中 本 圭 哉 鈴 木 琢 巳	福井	福 井 県 庁	5	那 須 暁 帆 小 林 優 美	愛知	ア ド マ テ ッ ク ス

男 子 3 5				女 子 3 5			
1	角 谷 祐 輔 足 利 剛 平	岡山	岡 山 市 役 所 ク ラ レ 岡 山	1	伊 佐 久 美 子 矢 崎 美 穂	東京	杉 並 文 化 ク ラ ブ
2	佐 藤 勲 中 野 淳	新潟	新 潟 ト キ め キ ク ラ ブ	2	松 井 あ か ね 吉 崎 香 奈 絵	京都	B - J O K E R
3	中 澤 厚 雄 柳 田 真 吾	北海道 埼玉	函 館 ク ラ ブ 川 口 I S C	3	藤 岡 友 子 神 保 綾	埼玉	岩 槻 す み れ 川 口 ク ラ ブ
3	三 木 英 治 香 川 大 輔	神奈川	せ せ ら ぎ ク ラ ブ 厚 木 市 役 所	3	沼 智 恵 加 藤 美 雪	千葉	千 葉 ク ラ ブ 小 金 原 ク ラ ブ

男 子 4 5				女 子 4 5			
1	片 峯 俊 和 篠 原 和 彦	福岡	T O T O	1	五 十 嵐 美 智 恵 米 沢 優 美 子	新潟 石川	燕 ク ラ ブ ふ た ば ク ラ ブ
2	宇 佐 美 潤 原 良 人	静岡	ベ ル ウ ッ ド 明 電 舎	2	太 田 郁 子 芦 部 美 奈 子	長野	飯 田 S T A
3	濱 田 英 明 金 倉 正 三	東京	練 馬 ソ フ ト 東 村 山 ソ フ ト	3	櫻 井 佳 子 松 嶋 晴 美	愛知	豊 田 ク ラ ブ
3	北 野 敏 明 豊 田 雅 孝	大阪 愛知	堺 連 盟 東 邦 ガ ス	3	岡 夕 香 鈴 木 節 子	岡山 東京	ク ラ レ 岡 山 日 亜 化 学 工 業

平成30年度 ソフトテニスランキング

(敬称略)

シ ニ ア 男 子 5 0				シ ニ ア 女 子 5 0			
1	中 武 稔 平 山 勉	宮崎	宮崎クラブ 都城市役所	1	東 純 子 宮崎 由佳子	兵庫 大阪	今津クラブ R I S E
2	梅 根 裕 一 相 模 崇 典	北海道 東京	札幌学院クラブ 睦 クラ ブ	2	山 田 美 鈴 中 牟 田 千 恵	岡山 福岡	玉 島 S T C 福 大 クラ ブ
3	塘 内 正 美 米 村 真 也	熊本	菊池郡市協会	3	高 木 ひ と み 野 口 真 美 子	愛知	豊 田 クラ ブ
3	菊 池 清 彦 福 山 貴 男	埼玉	深 谷 クラ ブ	3	村 岡 恵 子 佐 野 る り 子	東京	杉 並 文 化 クラ ブ

シ ニ ア 男 子 5 5				シ ニ ア 女 子 5 5			
1	荒 木 義 幸 松 本 宣 博	熊本	苓 北 クラ ブ 宇 土 クラ ブ	1	上 山 親 子 久 富 貴 美 代	大阪	フ ァ ニ ー 堺 レ デ ィ ー ス
2	深 津 弘 樹 堀 部 秀 治	愛知	みよし市役所 N T T 名 古 屋	2	中 山 広 子 宮 本 陽 子	埼玉	さいたまドリームクラブ 東 松 山 レ デ ィ ス
3	鈴 木 等 安 蒜 厚	千葉	手賀沼クラブ 小 金 原 クラ ブ	3	染 谷 啓 子 拜 原 み ゆ き	千葉 宮城	小 金 原 クラ ブ ウ ィ ナ ー クラ ブ
3	毛 利 喜 信 谷 本 満 裕	徳島	徳島抽栄会 大 神 子 病 院	3	大 谷 美 佐 木 下 之 美	徳島 和歌山	阿 南 クラ ブ ゆ う が クラ ブ

シ ニ ア 男 子 6 0				シ ニ ア 女 子 6 0			
1	篠 邊 保 石 川 雅 利	愛知 千葉	桜 田 クラ ブ 市 川 クラ ブ	1	小 野 寺 真 智 子 益 子 益 代	宮城 茨城	け や き クラ ブ 日 立 は ま ゆ う
2	松 舟 智 明 大 川 尚 洋	愛知	ウ イ ン グ クラ ブ	2	安 達 伸 子 江 利 角 富 美 子	大分	ス ポ ー ツ マ ン シ ッ プ
3	常 久 正 則 藤 原 潔 志	岡山	岡 山 南 高 クラ ブ 岡 山 市 役 所	3	坂 見 美 和 子 窪 田 み つ 子	愛媛	愛 媛 ア カ エ ム クラ ブ 今 治 連 盟
3	吉 岡 和 幸 兼 田 忠 啓	新潟	糸 魚 川 クラ ブ 中 条 クラ ブ	3	清 水 さ か 忍 井 上 光 子	千葉	市 原 ド リ ー ム 北 柏 ラ イ フ タ ウ ン クラ ブ

シ ニ ア 男 子 6 5				シ ニ ア 女 子 6 5			
1	谷 本 優 小 森 稔 信	大阪	大 阪 O B 軟 庭 会 堺 連 盟	1	尾 張 由 美 岩 原 慶 子	愛知	岡 崎 レ デ ィ ス クラ ブ
2	真 鍋 繁 実 直 原 隆 司	山口 広島	宇 部 興 産 広 友 会	2	渡 辺 須 磨 子 犬 伏 恵 美 子	徳島	徳 島 庭 球 倶 楽 部 徳 島 抽 栄 会
3	長 澤 輝 雄 篠 山 明	埼玉	浦 和 あ づ ま クラ ブ	3	後 藤 終 子 市 川 富 子	愛知 神奈川	す み れ クラ ブ 横 浜 レ デ ィ ー ス
3	梶 貴 文 田 原 美 成	山梨	山 梨 シ ニ ア クラ ブ 韮 崎 市 連 盟	3	光 田 直 代 新 山 久 美 子	岡山 島根	西 大 寺 早 起 クラ ブ 松 江 レ デ ィ ー ス

平成30年度 ソフトテニスランキング

(敬称略)

シニア男子70				シニア女子70			
1	相浦 誠 富岡 壽征	神奈川 東京	“K”S.T CLUB 松の木クラブ	1	小谷 苑子 高野 春子	東京 群馬	葛飾クラブ 前橋クラブ
2	小野 栄 近藤 清	埼玉 栃木	浦和あづまクラブ 西那須野クラブ	2	秋山 千代子 今西 敏子	神奈川 千葉	太陽クラブ 幸町クラブ
3	山口 和廣 豊福 尚弘	佐賀	鹿島クラブ 上峰クラブ	3	服部 京子 磯部 照子	愛知	すみれクラブ 津島市クラブ
3	石川 延房 岩本 義久	静岡	富士ファミリークラブ 静岡園クラブ	3	大塚 恵美子 林 孝江	群馬 埼玉	高崎中央クラブ 川口クラブ

シニア男子75				シニア女子75			
1	白石 一法 出水田 芳男	鹿児島	一球・クラブ クラシック	1	高羽 邦子 山田 悦子	大阪	堺ミルフィーズ 東大阪アミー
2	玉野 寿一 木本 有信	岐阜	土曜会 太平洋工業	2	田中 光子 稲垣 節子	愛知	葵クラブ
3	小松代 智夫 小島 晃	東京	旭クラブ 杉並文化クラブ	3	河合 かつ 中山 徳美	愛知 奈良	豊川協会 奈良クラブ
3	木地 孝嘉 望月 幹夫	愛知 埼玉	七宝町ソフト 浦和フレンドリー	3	宮崎 久子 杉本 征子	佐賀	鹿島クラブ 有田クラブ

シニア男子80				シニア女子80			
1	田万 豊廣 辻 喜千治	香川 愛媛	亀城クラブ 大洲S.T.A	1	福田 久恵 住友 康江	大阪 兵庫	枚方市連盟 すずらんクラブ
2	堤 国彦 城田 勝	京都 福岡	朝霧クラブ シロタスポーツクラブ	2	大久保 初子 鈴木 洋子	愛知 福島	すみれクラブ いわきママクラブ
3	若林 博之 中野 雅文	兵庫	三木クラブ 宝塚クラブ	3	大上 素子 篠田 知子	埼玉	上尾レディース 川越霞ヶ関テニス
3	森本 弘祐 石井 勝治	千葉	湖北台クラブ 浦安会	3	鶴川 千年 笹井 照子	大阪 京都	サンレディース 京都女子クラブ

シニア混合50				シニア混合55			
1	片桐 浩子 依田 教夫	長野	佐久S.T.A 長野市協会	1	染谷 啓子 藤生 政弘	千葉 東京	小金原クラブ 武蔵村山S.T.C
2	山本 有美 堀越 晴夫	東京	杉並文化クラブ 板橋倶楽部	2	大谷 美佐 谷本 満裕	徳島	阿南クラブ 大神子病院
3	山田 美鈴 藤井 忠彦	岡山 愛知	玉島S.T.C 知立連盟	3	中山 広子 川野 辺武	埼玉	さいたまドリームクラブ 栗橋テニス
3	石川 美喜代 安藤 光基	愛知	碧南市協会 西尾協会	3	原田 隆 原田 久美子	岐阜	岐阜しらさぎクラブ TEAM KUMA

平成30年度 ソフトテニスランキング

(敬称略)

シ ニ ア 混 合 6 0				シ ニ ア 混 合 6 5			
1	新 開 均 伴 戸 明 己	徳島 北海道	永 遠 ク ラ ブ 札 幌 白 石 ク ラ ブ	1	沼 田 義 雄 沼 田 ム ツ 子	熊本	宇 土 ク ラ ブ
2	原 田 和 昌 柏 原 敦 子	兵庫	加 古 川 ク ラ ブ 明 石 レ デ ィ ー ス	2	小 澤 孝 市 川 富 子	神奈川	金 剛 寺 ク ラ ブ 横 浜 レ デ ィ ー ス
3	増 田 加 奈 小 川 博	愛知	岡 崎 バ ー ド 三 菱 重 工 名 古 屋	3	高 島 喜 代 美 金 沢 秀 夫	東京	杉 並 支 部 国 分 寺 ク ラ ブ
3	富 田 喜 彦 神 野 弓 子	愛知	三 菱 重 工 名 古 屋 す み れ ク ラ ブ	3	綱 島 憲 一 園 菊 代	大阪	堺 連 盟 東 淀 川 ク ラ ブ

シ ニ ア 混 合 7 0			
1	近 藤 清 横 野 久 美 子	栃木 愛知	西 那 須 野 ク ラ ブ す み れ ク ラ ブ
2	東 山 賢 司 南 雲 睦 子	東京 神奈川	江 戸 川 ク ラ ブ 洋 光 台 ク ラ ブ
3	大 井 多 恵 井 川 義 則	愛知 岐阜	森 林 ク ラ ブ 岐 阜 し ら さ ぎ ク ラ ブ
3	佐 々 木 文 義 清 水 和 子	静岡 鹿児島	橘 ク ラ ブ 伊 敷 レ デ ィ ー ス

ジュニアシングルスU - 14 男子				ジュニアシングルスU - 14 女子			
1	野 口 快	埼玉	芝 東 中 学 校	1	天 間 美 嘉	青森	東 北 中 学 校
2	菊 山 太 陽	和歌山	西 和 中 学 校	2	松 岡 琴 美	岡山	山 陽 女 子 中 学 校
3	野 口 遼	埼玉	わ か く さ	3	近 坂 優 衣	和歌山	L . C . C .
3	小 泉 瑠 唯	埼玉	秩 父 第 一 中 学 校	3	望 月 聖 那	兵庫	夢 前 中 学 校

ジュニアシングルスU - 17 男子				ジュニアシングルスU - 17 女子			
1	幡 谷 康 平	奈良	高 田 商 業 高 校	1	赤 川 友 里 奈	埼玉	埼 玉 平 成 高 校
2	西 田 駿 人	奈良	高 田 商 業 高 校	2	西 東 彩 菜	東京	文 化 学 園 大 学 杉 並 高 校
3	武 市 大 輝	山口	下 松 中 学 校	3	浪 岡 菜 々 美	三重	三 重 高 校
3	北 爪 琉 登	群馬	荒 砥 中 学 校	3	佐 古 香 織	東京	文 化 学 園 大 学 杉 並 高 校

ジュニアシングルスU - 20 男子				ジュニアシングルスU - 20 女子			
1	上 松 俊 貴	日本学連	早 稲 田 大 学	1	林 田 リ コ	日本学連	東 京 女 子 体 育 大 学
2	上 岡 俊 介	日本学連	同 志 社 大 学	2	早 川 日 向	東京	ナ ガ セ ケ ン コ ー
3	広 岡 宙	広島	N T T 西 日 本	3	小 林 愛 美	東京	文 化 学 園 大 学 杉 並 高 校
3	北 本 達 己	日本学連	明 治 大 学	3	島 津 佳 那	日本学連	東 京 女 子 体 育 大 学

平成30年度 ソフトテニスランキング

(敬称略)

ジュニアダブルス U - 14 男子				ジュニアダブルス U - 14 女子			
1	根岸 滯 紋 小泉 瑠 唯	埼玉	秩父第一中学校	1	松岡 琴 美 向畑 奈々未	岡山 大阪	山陽女子中学校 昇陽中学校
2	松尾 和 桃 菊山 太 陽	岐阜 和歌山	糸貫中学校 西和中学校	2	天間 美 嘉 中谷 さくら	青森 兵庫	東北中学校 浜の宮中学校
3	國松 樹 人 國松 巧	新潟	小千谷市ジュニア	3	望月 聖 那 桑木 愛 花	兵庫 栃木	夢前中学校 芳賀中学校
3	南 龍之介 早川 悠 佑	東京	稲城ジュニア	3	鈴木 美 貴 杉本 希	埼玉	広島中学校

ジュニアダブルス U - 17 男子				ジュニアダブルス U - 17 女子			
1	中別府 峻 池口 季 将	奈良	高田商業高校	1	赤川 友里奈 根岸 楓英奈	埼玉 大阪	埼玉平成高校 昇陽高校
2	野田 楓 磨 永江 孝二郎	福岡	高田中学校	2	岡野 萌々子 岡野 若 菜	広島	広島翔洋高校
3	白川 雄 己 中原 壮 琉	香川 熊本	尽誠学園高校 帯山中学校	3	小松崎 茉代 西東 彩 菜	東京	文化学園大学杉並高校
3	仲川 晴 智 松本 翔 太	三重 東京	矢渕中学校 清明学園中学校	3	高橋 朱 里 青松 淑 佳	大阪	昇陽中学校

ジュニアダブルス U - 20 男子				ジュニアダブルス U - 20 女子			
1	中西 夏 輝 田中 駿 平	大阪	上宮高校	1	松井 玲 奈 古田 麻 友	和歌山 日本学連	和歌山信愛高校 関西大学
2	上岡 俊 介 広岡 宙	日本学連 広島	同志社大学 N T T 西日本	2	木瀬 晶 絵 小松 芹 菜	兵庫 日本学連	須磨学園高校 東京女子体育大学
3	根本 拓 哉 斎藤 龍 二	山形	羽黒高校	3	前山 愛 森本 彩 鼓	新潟 日本学連	北越高校 立教大学
3	水木 瑠 福田 成 海	宮城	東北高校	3	上野 小 町 吉田 滯 奈	大阪	昇陽高校

男子 シ ン グ ル ス				女子 シ ン グ ル ス			
1	船水 颯 人	日本学連	早稲田大学	1	尾上 胡 桃	日本学連	日本体育大学
2	長江 光 一	広島	N T T 西日本	2	黒田 奈穂子	日本学連	日本体育大学
3	船水 雄 太	広島	N T T 西日本	3	中川 瑞 貴	東京	ナガセケンコー
3	阪本 峻	日本学連	関西大学	3	高橋 乃 綾	広島	どんぐり北広島
5	上岡 俊 介	日本学連	同志社大学	5	田中 純	日本学連	関西大学
5	中原 寛 海	広島	マ ッ ダ	5	塚川 優 女	日本学連	神戸松蔭女子学院大学
5	井口 雄 介	宮崎	スマッシュイグチクラブ	5	山田 優 菜	三重	松阪興産
5	荒尾 大 輔	山口	宇部興産	5	徳川 愛 実	東京	ヨネックス

平成30年度 ソフトテニスランキング

(敬称略)

大 学 男 子				大 学 女 子			
1	安藤 優作 内田 理久	日本学連	早稲田大学	1	笠井 佑樹 尾上 胡桃	日本学連	日本体育大学
2	長尾 景陽 松本 倫旺	日本学連	早稲田大学	2	塚川 優女 地中 葵	日本学連	神戸松蔭女子学院大学
3	北本 達己 斉藤 大樹	日本学連	明治大学	3	井田 真季 中村 日菜子	日本学連	日本体育大学
3	阪本 峻 大橋 和生	日本学連	関西大学	3	山本 沙奈 花園 優帆	日本学連	早稲田大学
5	本倉 健太郎 丸山 海斗	日本学連	明治大学	5	石本 久美子 福田 茉畝	日本学連	神戸松蔭女子学院大学
5	上岡 俊介 三輪 惇平	日本学連	同志社大学	5	坂井 玲美 久保 晴華	日本学連	日本体育大学
5	谷口 睦 飯田 脩三	日本学連	関西大学	5	小山 舞 上原 由佳	日本学連	早稲田大学
5	内本 隆文 星野 慎平	日本学連	早稲田大学	5	宮野 理沙 濱名 優佳	日本学連	和洋女子大学

平成30年度 ソフトテニスランキング

(敬称略)

高 校 男 子			高 校 女 子				
1	下原 涼太 林 湧太郎	奈良	高田商業高校	1	小林 愛美 原島 百合香	東京	文化学園大学杉並高校
2	花岡 忠寿 増田 祐太	奈良	高田商業高校	2	長谷川 憂華 立花 さくら	岡山	山陽女子高校
3	山本 大陸 西田 駿人	奈良	高田商業高校	3	佐古 香織 江頭 明凜	東京	文化学園大学杉並高校
3	中西 夏輝 田中 駿平	大阪	上宮高校	3	田川 美怜 浪岡 菜々美	三重	三重高校
5	根本 拓哉 齋藤 龍二	山形	羽黒高校	5	岡野 萌々子 岡野 若奈	広島	広島翔洋高校
5	小倉 輝 檜山 遥斗	宮城	東北高校	5	木原 那菜 木原 恵菜	奈良	高田商業高校
5	北野 亮介 鈴木 竜弥	宮城	東北高校	5	齋木 菜々花 吉野 南美	千葉	昭和学院高校
5	西本 一雅 森田 晴紀	宮崎	都城商業高校	5	上野 小町 吉田 濤奈	大阪	昇陽高校
9	境 颯汰 霍田 薫	熊本	熊本工業高校	9	前山 愛 水澤 奈央	新潟	北越高校
9	白鳥 怜 星 柊也	宮城	東北高校	9	花尻 風夏 高場 姫菜	三重	三重高校
9	大谷 陽登 戸田 佳惟斗	三重	三重高校	9	近藤 衿奈 八田 乃々楓	京都	京都光華高校
9	中村 海斗 米澤 宗哉	岡山	岡山理科大学附属高校	9	木瀬 晶絵 平岡 琴恵	兵庫	須磨学園高校
9	深野 尚矢 古山 祐也	宮城	東北高校	9	塩路 千裕 塩路 ほのか	和歌山	和歌山信愛高校
9	松村 駿樹 須賀 紀太	東京	早稲田実業高校	9	大久保 由希 三好 夏未	栃木	白鷗大学足利高校
9	前田 拓夢 西端 隆汰	奈良	高田商業高校	9	松井 玲奈 川崎 海奈	和歌山	和歌山信愛高校
9	尾山 仁哉 上田 悠馬	富山	高岡商業高校	9	井本 寛乃 山口 桜子	愛知	岡崎城西高校

平成30年度 ソフトテニスランキング

(敬称略)

中 学 男 子				中 学 女 子			
1	森川 亮介 小宮 山建	広島	向陽中学校	1	高橋 朱里 青松 淑佳	大阪	昇陽中学校
2	高橋 海斗 黒坂 卓矢	埼玉	芝東中学校	2	山岡 鈴芽 山岡 愛芽	愛媛	伯方中学校
3	喜楽 洗音 北爪 琉登	群馬	荒砥中学校	3	岡田 采華 行田 夏菜子	島根	大田第一中学校
3	菅野 晃太郎 工藤 陽光也	神奈川	領家中学校	3	鈴木 美貴 杉本 希	埼玉	広島中学校
5	佐々井 清陽 上通 弘夢	兵庫	上郡中学校	5	高橋 偲 紺野 未実	岩手	胆沢中学校
5	上村 純也 金澤 慧	埼玉	松山中学校	5	星 絢菜 小柴 由貴	千葉	昭和学院中学校
5	野口 快 長知 弥	埼玉	芝東中学校	5	久留 紅 北川 アンナ璃咲	京都	京都光華中学校
5	武市 大輝 西村 公佑	山口	下松中学校	5	小川 ことみ 町田 寧音	千葉	昭和学院中学校

小 学 男 子				小 学 女 子			
1	國松 樹人 國松 巧	新潟	小千谷市ジュニアクラブ	1	柴田 凜 浜中 陽	京都	福知山ジュニアソフトテニスクラブ
2	小山 寛晴 野口 遼	埼玉	鳩ヶ谷ソフトテニスジュニア わかくさ	2	小柴 杏寧 浦山 皐	富山	WING射水スポーツ少年団
3	川崎 康平 大山 瑠偉	宮崎	清武ジュニアソフトテニスC スターキッズ	3	安井 花凜子 近坂 優衣	和歌山	和歌山・橋本ジュニアソフトテニスクラブ L . C . C .
3	植田 璃音 結城 純平	東京	高畑ジュニアソフトテニスクラブ 砦南ジュニアソフトテニスクラブ	3	西條 葵 宮本 絢菜	茨城	水戸ソフトテニススポーツ少年団
5	小坂 海翔 大家 健慎	富山	入善EASTクラブ スポーツ少年団	5	前川 愛生 中谷 ももこ	兵庫	明石ジュニアクラブ
5	南 龍之介 早川 悠佑	東京	稲城ジュニアソフトテニスクラブ	5	塚本 七海 薄 優衣	愛知	朝日 S . T . C
5	大槻 寛介 千葉 琉翔	宮城	仙台青葉 J S T 若柳ソフトテニススポーツ少年団	5	岩田 夏穂 磯部 由佳	東京	稲城ジュニアソフトテニスクラブ
5	牧野 渉 片貝 匠	群馬	スマイリーソフトテニスクラブ 前橋ジュニアソフトテニスクラブ	5	河原 愛花 比留間 ほの香	東京	池雪ジュニアソフトテニスクラブ 世田谷ジュニアソフトテニスクラブ

7. ソフトテニスの技術等級・指導員資格認定に関する事業

(1) 技術等級の認定を次のとおり行った。

(数値:名)

等級	名誉指導員	Ma	Ex	S-Ex	Sp	S-Sp	1級	2級	3級	4級	計
平成30年度	0	0	91	14	364	15	347	1,248	1,701	2,873	6,653
平成29年度	0	0	67	11	346	15	361	1,335	1,640	3,186	6,961

(注) 平成30年度都道府県別認定者数は別表2(P58)に掲載

(数値:名)

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人数	6,916	6,715	6,812	6,450	6,961	6,653

(2) 大会申込システムと連動して大会参加資格のチェックを行った。

(3) 技術等級資格取得者を増大するため、制度の見直しを検討した。

8. ソフトテニスの審判員資格認定に関する事業

(1) 公認審判員の認定を次のとおり行った。

(数値:名)

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
マスターレフェリー		41	58	60	78	60	40
マスターアンパイヤー		45	42	70	62	72	87
1級		215	248	284	282	236	284
2級	一般	9,380	9,229	10,389	9,920	10,121	9,209
	高校	18,628	20,256	21,331	22,474	22,050	21,854
ジュニア		36,545	39,657	39,321	40,171	35,524	36,721
計		64,854	69,490	71,455	72,987	68,062	68,195

(注) 平成30年度都道府県別認定者数は別表3(P59)に掲載

(2) 1級審判員の検定会(参加者:83名)と研修会(参加者:222名)を、次のとおり実施した。

	実施期日	会場	参加者(名)
検定会	平成31年1月19日～20日	東京都・大森スポーツセンター	47
	平成31年2月16日～17日	鹿児島県・ふれあいスポーツランド	36
研修会	平成30年11月24日	埼玉県・スポーツ総合センター	52
	平成31年1月6日	宮崎県・高鍋町総合体育館	14
	平成31年1月26日	静岡県・浜北総合体育館グリーンアリーナ	13
	平成31年1月26日	福島県・本宮第一中学校	51
	平成31年1月27日	岡山県・備前市総合運動公園体育館	41
	平成31年2月3日	愛媛県・今治市営スポーツパークテニスコート	17
	平成31年2月16日	奈良県・田原本町中央体育館	14
平成31年2月17日	新潟県・高田スポーツセンター	20	

(3) ソフトテニスハンドブック、ジュニア審判マニュアル等を販売・配布した。(数値：冊/枚)

年 度	ソフトテニス ハンドブック	採点票	オーダー票	イエロー カード等	ジュニア審判 マニュアル
平成 30 年度	23,634	2,629	847	23,719	38,800
平成 29 年度	24,383	4,819	879	24,431	32,534

(4) 審判員の普及促進と資質向上のため下記を行った。

- ①審判員バンク及び派遣審判員制度の検討
- ②審判 DVD の活用
- ③ジュニア審判員普及促進
 - ・小学生高学年及び中学生対象の「ジュニア審判マニュアル」によるルールの理解を図った。
 - ・小学生低学年対象の「ルール（きまり）とマッチ（試合）の進め方」によるルールの理解を図った。
- ④全国審判委員長会議開催の検討

9. ソフトテニス用具・用品、施設の公認

(1) 愛好者・競技者が安全で快適にプレーができるよう用具・用品、施設の公認に関し、次の事業を行った。

- ①公認事業者の更新を承認した。
(P50～P51 (3)維持会費ア.公認メーカー イ.施設業者を参照)

②ラケットの証紙、ネットの証布を発行した。(数値：枚)

年 度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
ラケット証紙	460,146	369,825	429,345	359,560	378,710	314,180
ネット証布	3,400	2,800	2,650	2,700	3,000	2,150

10. 普及振興のための医科学研究事業

(1) 普及発展および競技力向上のため、学術的な貢献をするべく事業を推進した。

- ①平成 30 年度の小・中・高校指導者研修会にて「平成 29 年度日本ソフトテニス連盟医科学研究報告書」に沿った内容で講演を行った。
- ②公認コーチ養成講習会にて、「ソフトテニス選手の栄養サポート」講習を実施した。
- ③全国トレーナー研修会を開催し、資質向上のための研修を実施した。
- ④下記の国内大会でトレーナーブースを開設し、参加者の身体ケアを行った。
 - ・第 18 回アジア競技大会日本代表選手予選会
 - ・全日本シングルス選手権大会
 - ・天皇賜杯皇后賜杯全日本選手権大会
- ⑤日本スポーツ協会主催のスポーツドクター代表者会議に、医学部会委員が出席した。
- ⑥平成 30 年度医科学研究報告書を発行し、各加盟団体および関係各位に配布した。

(2) アンチ・ドーピングに関する活動

ドーピング検査への協力およびアンチ・ドーピングに関する教育・啓発活動を実施した。

- ①国内大会で実施されたドーピング検査に協力した。日本スポーツ振興センターより 3,558,000 円の助成を受けた。

- ・第18回アジア競技大会日本代表選手予選会
- ・全日本シングルス選手権大会
- ・天皇賜杯皇后賜杯全日本選手権大会
- ・全日本インドア選手権大会

- ②ドーピング検査実施において、競技団体側より NF-Rep として検査をサポートした。
- ③アンチ・ドーピングガイドを作成して日本連盟ホームページ等に掲載した。
- ④指導者や選手の家族へのアンチ・ドーピング教育について検討した。
- ⑤アウトリーチ活動(アンチ・ドーピングについての広報活動)としてのブースを競技者育成プログラム Step-4 において開設し、202名の選手が参加した。
- ⑥情報収集、知識向上のため、日本アンチ・ドーピング機構の開催する各種研修会にアンチ・ドーピング部会員が参加した。

II. ソフトテニスの競技力向上事業

1. ソフトテニスの競技力向上、医科学研究調査

(1) 競技力向上

*世界No.1の競技力の維持を目指して次の事業を実施した。

1) 競技者育成プログラムの推進

- ・一貫指導システムの構築を図り、競技者育成プログラムを Step1 から Step5 の過程を経て実施することにより、競技力を向上させた。Step-1 から Step-3 は(独法)スポーツ振興くじ助成金対象事業。Step-4 はスポーツ拠点化事業として実施した。

- ① Step-1,2 47都道府県で強化練習会・選考会を実施し、400,000円を助成した。
- ② Step-3 U-14/U-17/U-20の男女が8ブロックで別表のとおり行われ、強化練習会・選考会を実施した。

2) 競技者育成プログラム改訂に向けての取り組み

実施から10年以上が経過したプログラムを見直し、より競技力向上の成果があがるプログラムについて検討を行った。

ブロック名	期 日	参加 選手数	各支部 代表	カテゴリー別 指導者	ブロック 運営委員	データ 管 理	日本連盟 運営委員	日本連盟 強化委員	総 計
北海道・東北(宮城県・仙台市)	8/31~9/2	168	7	28	4	4	2	1	214
関 東 (埼玉県・熊谷市)	8/31~9/2	192	8	32	3	4	2	1	242
北信越 (石川県・小松市)	8/24~26	120	5	19	4	4	1	1	154
東 海 (三重県・四日市市)	8/30~9/1	96	4	15	4	4	1	1	125
近 畿 (和歌山県・和歌山市)	8/24~26	144	6	24	3	4	2	1	184
中 国 (広島県・三次市)	8/31~9/2	117	5	20	4	4	2	1	153
四 国 (徳島県・徳島市)	8/24~26	96	4	16	3	4	2	1	126
九 州 (熊本県・熊本市)	8/24~26	188	8	32	4	4	1	1	238
合 計		1,121	47	186	29	32	13	8	1,436

※スポーツ振興くじ助成金の対象事業として 51,667,000 円の助成を受けた。

③第 13 回ソフトテニスジュニアジャパンカップ「競技者育成プログラム (Step-4)」
を下記のとおり実施した。

期 日：11 月 16 日・17 日 (強化練習会兼選考会)

11 月 18 日・19 日 (第 13 回ジュニアジャパンカップ)

会 場：宮崎市生目の杜運動公園テニスコート・久峰総合運動公園テニスコート

選 手：U-14 (男子：42 名・女子：42 名) 計 84 名

U-17 (男子：42 名・女子：46 名) 計 88 名

U-20 (男子：36 名・女子：30 名) 計 66 名

指 導 者：24 名 (各カテゴリーの男女別に 4 名)

役員・補助員：129 名

3) 日本代表チーム、ナショナルチーム及びアンダーチームの強化合宿

① 日本代表チームおよびナショナルチーム (男子、女子) の強化合宿を実施した。

	回数	実施期日	参加者(名)		会 場	
			スタッフ	選手		
代表候補	①	平成 30 年 6 月 1 日～6 日	6	10	三重県・四日市市	
代表	①	平成 30 年 7 月 4 日～8 日	6	12	インドネシア	
	2	平成 30 年 7 月 26 日～29 日 (男子)	3	7	大阪府・大阪市	
	3	平成 30 年 8 月 11 日～13 日 (女子)	3	5	神奈川県・横浜市	
	④	平成 30 年 8 月 22 日～25 日	6	10	インドネシア	
ナショナル	男子	①	平成 30 年 4 月 28 日～5 月 3 日	3	14	大阪府・大阪市
		2	平成 31 年 3 月 21 日～26 日	3	15	三重県・四日市市
	女子	①	平成 30 年 4 月 28 日～5 月 3 日	3	14	大阪府・大阪市
		2☆	平成 31 年 2 月 8 日～13 日	3	18	三重県・四日市市

② 全日本 U-14、U-17、U-20 (男子、女子) 強化合宿を次のとおり実施した。

	カテゴリー	実施期日	参加者(名)		会 場	
			スタッフ	選手		
男子	U-20	1	平成 30 年 6 月 1 日～6 日	2	15	三重県・四日市市
		2☆	平成 31 年 2 月 19 日～24 日	3	20	三重県・四日市市
	U-17	1☆	平成 30 年 4 月 13 日～18 日	3	18	福島県・東白川郡
		② (日韓中 ジュニア代表 チーム)	平成 30 年 8 月 20 日～22 日	2	6	神奈川県・横浜市
		3☆	平成 31 年 2 月 19 日～24 日	3	20	三重県・四日市市
	U-14	①☆	平成 30 年 5 月 26 日～31 日	3	20	三重県・鈴鹿市
		2☆	平成 31 年 2 月 19 日～24 日	3	20	三重県・四日市市

女子	U-20	1☆	平成 30 年 8 月 28 日～9 月 2 日	4	14	香川県・丸亀市
		2☆	平成 31 年 2 月 8 日～13 日	3	18	三重県・四日市市
	U-17	1☆	平成 30 年 4 月 8 日～13 日	2	20	三重県・鈴鹿市
		② (日韓中 ジュニア代表 チーム)	平成 30 年 8 月 20 日～22 日	2	6	神奈川県・横浜市
		3☆	平成 31 年 2 月 9 日～14 日	2	20	三重県・四日市市
	U-14	①☆	平成 30 年 5 月 26 日～31 日	3	20	三重県・鈴鹿市
2☆		平成 31 年 2 月 9 日～14 日	3	20	三重県・四日市市	

(注 1) ☆印は (公財) 日本オリンピック委員会の補助事業である。(11,517,000 円)

(注 2) ○印の合宿は男女合同で実施した。

4) 競技力向上のための海外遠征

・次の国際大会へ選手を派遣し、競技力の向上を図った。(敬称略)

* 2018 ワタキューカップハワイ大会

ア. 開催国 アメリカ合衆国 (ハワイ)

イ. 4 月 5 日～9 日

ウ. 派遣者

団 長 野際照章 (日本連盟専務理事)

選 手 阪本峻 (関西大学) 高倉和毅 (早稲田大学)

星野雄慈 (日本体育大学) 米澤要 (明治大学)

エ. 参加国

日本、韓国、タイ、フィリピン、アメリカ、ハワイ
インド、ブラジル

オ. 成績

シングルス

優 勝 高倉和毅

第 3 位 阪本峻

ダブルス

第 3 位 阪本峻・米澤要

第 3 位 高倉 和毅・星野 雄慈

* 第 17 回チャイナカップ

中国・浙江省において、6 月 16 日～6 月 23 日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 開催国 中華人民共和国

イ. 6 月 16 日～23 日

ウ. 派遣者

団 長 丹崎健一 (日本連盟常務理事)

男子監督 堀晃大 (N T T 西日本)

女子監督 田中弘 (強化委員)

トレーナー 吉川友巳奈 (ゆらく接骨院)

男子選手 広岡宙 (N T T 西日本)

阪本峻 (関西大学)

星野雄慈 (日本体育大学)

瀬口翔太 (トヨタ自動車)

高村悌紳 (関西外国語大学)

永井宏典 (日本体育大学)

女子選手 片野理音 (東京女子体育大学)

下地彩可 (関西外国語大学)

小松芹奈 (東京女子体育大学)

島津佳那 (東京女子体育大学)

	黒田麻衣(ヨネックス)	小山舞(早稲田大学)
エ. 参加国	日本、中国、韓国、中華台北、北朝鮮、フィリピン、 モンゴル、ポーランド、チェコ、タイ	
オ. 成績	女子国別対抗戦	第三位 高倉和毅
	ミックスダブルス	準優勝 瀬口・黒田 第三位 片野・広岡
	女子シングルス	第三位 島津佳那 第三位 小山舞

* 第26回日・韓・中ジュニア交流競技会

韓国・全羅南道 麗水市において、8月23日～8月29日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 開催国 大韓民国

イ. 8月23日～29日

ウ. 派遣者

団 長	川西斎 (日本連盟理事)	
男子監督	池田征弘 (西城陽高高校)	
女子監督	篠原和隆 (前橋商業高校)	
トレーナー	小亀裕美 (大阪ハイテクノロジー専門学校)	
男子選手	林湧太郎 (高田商業高校)	田中駿平 (上宮高校)
	真玉大輔 (松江工業高校)	白川雄己 (尽誠学園高校)
	池田季将 (高田商業高校)	中別府稔 (高田商業高校)
女子選手	竹田真樹 (三重高校)	吉田滯奈 (昇陽高校)
	原口美咲 (中村学園高校)	小林愛美 (文大杉並高校)
	木瀬晶栄 (須磨学園高校)	原島百合香 (文大杉並高校)

エ. 参加国 日本、韓国、中国

オ. 成績 男子：優勝 女子：優勝

* 第18回アジア競技大会

インドネシア・パレンバンにおいて、8月27日～9月1日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

イ. 開催国 インドネシア

イ. 8月27日～9月1日

ウ. 派遣者

団 長	北本英幸 (日本連盟常務理事)
マネージャー	吉川友巳奈 (ゆらく接骨院)
男子監督	中堀成生 (NTT西日本)
女子監督	斉藤広宣 (松戸市役所)
男子コーチ	川村達郎 (宇部興産)
女子コーチ	高川経生 (ヨネックス)
男子トレーナー	田中京介 (せんだメディカルクリニック)
女子トレーナー	川上晃司 (スポーツインテリジェンス)

医科学	スポーツ科学部会 工藤敏巳 (宮城学院女子大学)
	スポーツ科学部会 永野康治 (日本女子体育大学)
男子選手	船水颯人(早稲田大学) 上松俊貴(早稲田大学)
	丸中大明(N T T 西日本) 長江光一(N T T 西日本)
	増田健人(和歌山県庁)
女子選手	林田リコ(東京女子体育大学) 半谷美咲(どんぐり北広島)
	高橋乃綾(どんぐり北広島) 尾上胡桃(日本体育大学)
	黒木瑠璃華(ヨネックス)
エ. 参加国	日本、韓国、ラオス、モンゴル、カンボジア、中国 インドネシア、インド、パキスタン、フィリピン、タイ 中華台北、北朝鮮、ベトナム
オ. 成績	女子シングルス 優勝(金メダル) 高橋乃綾 ミックスダブルス ベスト4(銅メダル) 上松・林田 男子国別対抗戦 第二位(銀メダル) 女子国別対抗戦 優勝(金メダル)

*第3回 世界ジュニア選手権大会

韓国・順天市において、11月18日～11月24日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 開催国 大韓民国

イ. 11月18日～24日

ウ. 派遣者

団 長	野際照章 (日本連盟専務理事)
男子U-21 監督	堀晃大 (N T T 西日本)
女子U-21 監督	北本英幸 (石川県立金沢伏見高校)
男子U-18 監督	高橋茂 (清明学園中学校)
女子U-18 監督	篠原和隆 (前橋商業高校)
男子U-15 監督	橋本康徳 (京都市立西総合支援学校)
女子U-15 監督	安達和紀 (城山クラブ)
トレーナー	深間内誠 (鈴鹿回生病院) 高川亜紀 (日域整形外)
男子U-21 選手	本倉健太郎(明治大学) 丸山海斗(明治大学)
	上岡俊介(同志社大学) 廣岡宙(NTT 西日本)
	金子大祐(明治大学) 星野雄慈(日本体育大学)
女子U-21 選手	林田リコ(東京女子体育大学) 貝瀬ほのか(ヨネックス)
	笠井佑樹(日本体育大学) 芝崎百香(ナガセケンコー)
	黒田麻衣(ヨネックス) 島津佳那(東京女子体育大学)
男子U-18 選手	高倉和毅(早稲田大学) 林誠太朗(同志社大学)
	福田成海(東北高校) 北野亮介(東北高校)
	中別府凌(高田商業高校) 林湧太郎(高田商業高校)
女子U-18 選手	宮下こころ(明治大学) 片野理音(東京女子体育大学)
	小松芹奈(東京女子体育大学) 竹田真樹(三重高校)

	吉田滯奈(昇陽高校) 小林愛美(文化学園大学杉並高校)
男子 U-15 選手	幡谷康平(高田商業高校) 武市大輝(下松中学校) 野田楓磨(高田中学校) 永江孝二郎(高田中学校) 菅野晃太郎(領家中学校) 松本隼(輪島中学校)
女子 U-15 選手	濱島怜奈(鈴峯女子中学校) 青松淑佳(昇陽中学校) 大友紅実(長森中学校) 生井沢日向子(潮来第一中学校) 原田美結(追分中学校) 五十嵐美結(光が丘第二中学校)
エ. 参加国	日本、中国、カンボジア、ハンガリー、インド、 インドネシア、ラオス、韓国、カザフスタン、ネパール、 マレーシア、モンゴル、パキスタン、フィリピン、 ロシア、中華台北、タイ、ウズベキスタン、ベトナム
オ. 成績	男子 U-21 ダブルス 第三位 本倉・丸山 男子 U-18 ダブルス 優 勝 高倉・林(湧) 準優勝 北野・林(誠) 男子 U-15 ダブルス 優 勝 野田・永江 第三位 幡谷・武市 女子 U-21 ダブルス 優 勝 林田・島津 準優勝 笠井・芝崎 第三位 貝瀬・黒田 女子 U-18 ダブルス 優 勝 片野・小松 準優勝 小林・宮下 第三位 竹田・吉田 女子 U-15 ダブルス 優 勝 五十嵐・原田 準優勝 濱島・青松 第三位 大友・生井沢 男子 U-21 シングルス 第三位 上岡俊介 男子 U-18 シングルス 優 勝 高倉和毅 第三位 北野亮介 男子 U-15 シングルス 優 勝 幡谷康平 第三位 武市大輝 女子 U-21 シングルス 優 勝 林田リコ 準優勝 貝瀬ほのか 女子 U-18 シングルス 準優勝 小林愛美 第三位 小松芹奈 女子 U-15 シングルス 優 勝 濱島怜奈 準優勝 大友紅実 第三位 五十嵐美結

* 2018 コリアカップ

韓国・安城市において 11 月 11 日～18 日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 開催国 大韓民国

イ. 11月11日～18日

ウ. 派遣者

団長	野際照章（日本連盟専務理事）	
コーチ	川村達郎（宇部興産）	高川経生（ヨネックス）
トレーナー	田中京介（せんだメディカルクリニック）	
男子選手	船水颯人（早稲田大学）	上松俊貴（早稲田大学）
	船水雄太（NTT西日本）	九島一馬（ミズノ）
	安藤優作（早稲田大学）	内田理久（早稲田大学）
女子選手	徳川愛実（ヨネックス）	黒木瑠璃華（ヨネックス）
	泉谷朋香（東芝姫路）	大槻麗（ダンロップ）
	尾上胡桃（日本体育大学）	

エ. 参加国 日本、韓国、マレーシア、パキスタン、カンボジア、モンゴル、キルギス、ロシア、タイ、インド、ハンガリー、中華台北、インドネシア、カザフスタン、中国、ラオス、フィリピン

オ. 成績	男子シングルス	優勝	上松俊貴
		第三位	船水颯人
	女子シングルス	第三位	尾上胡桃
	男子ダブルス	優勝	船水・上松
		準優勝	安藤・内田
	女子ダブルス	準優勝	大槻・泉谷
		第三位	徳川・黒木
	男子国別対抗戦	優勝	
	女子国別対抗戦	ベスト8	

* 第8回タイオープン国際ソフトテニス選手権大会

タイ・バンコクにおいて2月27日～3月5日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア. 開催国 タイ王国

イ. 2月27日～3月5日

ウ. 派遣者

団長	野際照章（日本連盟専務理事）	
男子選手	内本隆文（早稲田大学）	内田理久（早稲田大学）
女子選手	中川瑞貴（ナガセケンコー） 柴崎百香（ナガセケンコー）	

エ. 参加国 日本、中国、インド、タイ

オ. 成績	男子ダブルス	優勝	
	女子ダブルス	優勝	
	ミックスダブルス	優勝	中川・内田
		第二位	内本・芝崎

男子シングルス 第二位 内本隆文
 第三位 内田理久
 女子シングルス 優勝 中川瑞貴
 第三位 芝崎百香

5) 各種大会視察

- ・強化委員および強化スタッフを次のとおり各種大会に派遣した。 (敬称略)

大会名	派遣者
アジア競技大会日本代表選手予選会	北本英幸、篠邊保、中堀成生、川村達郎、齊藤広宣、高川経生
全日本シングルス選手権大会	北本英幸、中堀成生、川村達郎、齊藤広宣、高川経生、伊加英隆
全日本小学生選手権大会	安達和紀
全国中学校大会	橋本康徳、松元誠二
全日本選手権大会	北本英幸、篠邊保、田中弘、小野寺剛、中堀成生、川村達郎、齊藤広宣、高川経生、伊加英隆、川崎智成

(2) 競技力向上事業における医科学研究調査

- ①競技者育成プログラム Step-4 にて「アスリートに必要なメンタルとは」と題した講習会を行った。
- ②国内外の下記大会および合宿に医科学委員会より帯同し、ゲーム分析を行い、データと映像によるフィードバックを行った。強化委員会と医科学委員会が連携し、選手強化や戦略の構築を行った。
 - ・全日本インドア選手権大会
 - ・チャイナカップ (中国)
 - ・第 18 回アジア競技大会日本代表チーム現地合宿 (インドネシア)
 - ・第 18 回アジア競技大会 (インドネシア)
- ③国立スポーツ科学センターのアスリートチェック事業としてトータルスポーツクリニックを実施し、強化選手の各種測定などからデータ収集を行った。ヨネックススポーツ振興財団より 440,000 円の助成を受けた。
- ④強化チーム合宿に、医学部会所属の内科系医師および整形外科医師各 1 名を派遣し、メディカルチェックおよび身体管理について指導を行った。
- ⑤医学部会所属の栄養士により、下記の事業を実施した。
 - ・強化チーム合宿において「スポーツ栄養」として講習会を実施した。
 - ・合宿中の栄養状態改善のため、献立作成を行い、関係施設への協力を依頼した。
 - ・選手への食事指導のため栄養調査を実施し、改善点のフィードバックのため分析した。
- ⑦強化選手に対し、各年代にあわせた内容でアンチ・ドーピング講習会を行った。
- ⑧試合映像、分析データの保守・管理について検討した。

2. ソフトテニスの指導者育成

(1) 指導者養成

①指導者養成事業の推進

ア. 公認スポーツ指導者制度の変更に伴い、2020 年実施に向けて専門科目カリキュラムの見

直しに取り組んだ。

イ. 指導員養成講習会専門科目を開催した(開催事業 16 会場)

実施都道府県

北海道、宮城県、秋田県、群馬県、神奈川県、富山県、石川県、愛知県、京都府、岡山県、
広島県、山口県、愛媛県、熊本県、大分県、沖縄県

ウ. 公認スポーツ指導者有資格者以外のソフトテニス指導者の現状把握について検討した。

エ. 中・高等学校指導者育成のための方策を検討した。

オ. 指導者養成講習会を下記会場で実施した。

スポーツ専門学校 1 会場 履正社医療スポーツ専門学校

カ. 「ソフトテニス指導マニュアルジュニア編」の改訂に向けて、現行の指導教本に基づき変更すべき箇所など具体的作業に取り組んだ。

キ. 上級指導員養成講習会(専門科目)を積極的に開催してもらえるよう現在の状況把握を進めた。

ク. 中学校および高等学校におけるソフトテニス未経験の顧問(先生)を対象とした講習会開催について、実施加盟団体情報を集約するとともに講師派遣方法等について検討した。

ケ. スポーツ庁からの「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に基づき、「ソフトテニス部活動指導の手引き」を作成し、ホームページに掲載した。

②全国小・中・高指導者研修会

昨年度に続き、本年度も愛知県名古屋市の邦和セミナープラザで2日間にわたり研修会を実施した。今回は実技指導を取り入れたが、小学生・中学生・高校生指導者の連携のためのディスカッションの必要性が課題となった。

・日程：平成 31 年 2 月 16 日(土)・17 日(日)

・場所：邦和セミナープラザ

・参加人数：日本連盟(役員・指導者)36名、加盟団体代表137名

・研修内容

ア. JASP における新しい映像コンテンツについて

イ. 医科学研究報告書の解説

ウ. ベースラインプレーヤーとネットプレーヤーの指導方法について(実技)

③指導者バンク(日本連盟)の確立および推進

競技者育成プログラムおよび指導者養成推進等のために日本連盟として指導者バンクを有効に活用する方策等について検討を行った。

④ジュニア層指導者の資格取得推進

ジュニア層指導者の資格取得を積極的に推進した。

Ⅲ. ソフトテニスの国際振興事業

1. ソフトテニスの国際振興

(1) 国際普及活動の推進

- ①アジア連盟加盟国会議(タイ・チェンマイ 2018 年 12 月 8 日～11 日)に、西村顧問、笠井副会長、野際専務理事、丹崎国際委員長、玉木国際委員、赤須国際委員が参加した。
- ②普及対象国への指導者、選手の派遣体制と制度化を検討した。
- ③海外の指導者及び選手の受け入れ体制と制度化を検討した。
- ④韓国のジュニア選手を交流のため受け入れた。
- ⑤ASTF 会議において、アウトコート サイズを、国際テニス連盟規則に合わせる提案をし、承認された。
次回 ISTF 総会にて諮られる予定。
- ⑥用具・用品の支援として、ラケット・ボールの無償提供を実施した。(ボール 140 ダース、ラケット 170 本)
- ⑦国際普及親善活動実施の加盟団体に対して「国際親善大会補助費」を助成した。
福井県連盟、福岡県連盟、山口県連盟、香川県連盟、山形県連盟、滋賀県連盟、兵庫県連盟、
広島県連盟、宮崎県連盟、近畿連盟、北海道連盟、日本学生連盟、徳島県連盟

(2) 国際大会の開催促進

- ①第 18 回アジア競技大会(2018 年インドネシア)に、TD(テクニカルデレゲート)として丹崎国際委員長を派遣した。
- ②関西ワールドマスターズゲームズ 2021 のTD(テクニカルデレゲート)として野際専務理事を派遣することとし、組織委員会と打合せを行った。
- ③世界ジュニア選手権大会(2018 年韓国)への各カテゴリーの選手派遣についてISTFと調整を行った。
- ④海外大会への日本人の参加を推進した。

(3) 国際組織 (ISTF、ASTF) への協力

- ①2018 年 12 月 8 日～11 日の ASTF ミーティング(タイ・チェンマイ)開催に協力した。
- ②ISTF 会長(朴氏・韓国)の死去に伴い、笠井副会長、野際専務理事、丹崎国際委員長が、葬儀弔問でソウルを訪問した。
- ③会長の急逝に伴い、今後のISTFと日本連盟の関わりについての検討を開始した。

[各事業を推進するための組織と財政の強化]

I. 組織と財政の強化

1. 組織と財政の強化の推進

公益財団法人としての高い社会的信用を維持し公益目的事業を行うために、組織体制の強化と財政運営に取り組んだ。

2. 総務委員会企画部会の発足

新たに企画部会を発足し、未来構想や長期基本計画の策定、ソフトテニスの認知度向上に向けての施策などの検討を開始した。

3. 各年代における登録人口の増加への取り組み

大学生対策プロジェクト、高校生対策プロジェクト、中学生対策プロジェクトをスタートさせ、合同会議やそれぞれのプロジェクトの会議を開催し、対象となる年代層の登録会員の減少に歯止めをかける対策について協議した。小学生の対策については生涯スポーツ委員会小学生部会が前述の3プロジェクトとの役割を担い活動を始めた。

4. 環境と教育への取り組み

ソフトテニスを通じて環境教育と青少年健全育成に取り組んだ。

①大会や各種事業を実施する際にごみの分別や、マイボトルの推進を図るなど、スポーツ活動を通して環境保全を図り、スポーツをする人たち、見る人たちも相等しく地球人として環境保全を推進するため、物を大切に作る生活習慣を徹底した。

また、日本オリンピック委員会（JOC）のポスターを会場やプログラム等への掲載を実施し、環境とマナーの向上を図った。

平成26年度に当連盟が作成した「環境宣言『来た時よりも美しく』・フェアプレイ宣言『ありがとう あなたの笑顔とそのマナー』」の横断幕を日本連盟主催の大会や研修事業等に掲げ、環境問題への取り組みの大切さとフェアプレイを訴えた。

②JOC等が開催する各種セミナーやフォーラムに参加し、環境問題や組織力向上のための研修を受けた。

- ・JOC スポーツ環境地域セミナー
- ・JOC 総務本部フォーラム

②スポーツマンとしての倫理教育、青少年の健全育成の推進

- ・スポーツ活動を通して青少年が自己責任やフェアプレイの精神などを身につけると共に、仲間との交流を通じて、コミュニケーション能力の育成や他人に対する思いやりなど、豊かな人間性を育める取り組みを推進した。
- ・大会会場で「あくしゅ あいさつ ありがとう」の実践をすすめ、選手のお互いへの思いやりや、相手を尊敬する精神の育成を行った。
- ・「フェアプレイで日本を元気に」フェアプレイ宣言キャンペーン活動を継続推進した。
- ・「マナーBOOK」を通して、試合終了後の握手の励行、参加選手だけでなく応援者へのマナーの呼びかけなどを行った。大会プログラム等への掲載のため、「マナーBOOK」抜粋版を作成した。
- ・各大会で協力していただいたマナーチェックシートを集約し、今後の分析を進めることとした。

5. 会員登録制度の推進

財政基盤となる会員登録料はシステム活用により正確に収納された。

①会員登録制度の充実

- ・制度の周知徹底を行い、会員登録制度を推進した。

②会員登録手続きの効率化

- ・会員登録システムの活用を向上し、事務効率化を図った。
- ・会員登録システムに連動し、審判、技術等級の認定管理を行った。
- ・支部大会申込システムの活用を促進した。
- ・会員証及び会員報を各団体へ直接送付し、加盟団体関係者の事務負担の軽減を図った。
- ・会員登録料納付システムの活用による会費および大会参加料等の早期かつ正確な納付による円滑で正確な資金管理を行うことができた。

③会員報の発行

- ・年2回(9月、2月)会員報を発行して会員登録料の使途及び日本連盟の情報を会員に周知した。

④登録状況の把握と改善

- ・加盟団体別及び階層別の登録状況を把握し、年度別登録人数の推移、特に中学3年生の登録状況を精査し今後の対策を協議した。
- ・会員登録有料化からの階層別会員登録推移の検証・分析をし、愛好者増加対策事業のデータベース作成方法の協議を進めた。

6. 暴力行為の根絶

- ・「公益財団法人日本スポーツ協会及び加盟団体における倫理に関するガイドライン」に従い、「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」の精神に則り暴力の根絶の徹底を図っている。
- ・暴力行為の根絶のため、平成25年12月1日に制定した指導基本規程に基づき、通報窓口と指導基本規程違反の処理機関として、違反救済申立処理委員会を各支部（各都道府県連盟、日本学連、全国高体連、日本中体連）に、違反救済審査委員会を日本連盟に平成26年4月1日より設置し、指導基本規程等諸規程に従った対応を図った。日本連盟において設置している「指導基本規程違反救済審査委員会」への相談については該当する事項は無かった。

7. 加盟団体会長会議の開催

- ・加盟団体会長会議を開催した。日本オリンピック委員会加盟団体会長会議の内容についての報告およびスポーツ界における暴力根絶をテーマに講演を行った。

期 日 平成31年2月2日（土）15時

会 場 ホテルメルパルク大阪

参加数 加盟団体45名、日本連盟役員・委員27名、職員3名

内 容

- ・スポーツ界におけるインテグリティについて
- ・スポーツをとりまく環境について
- ・ガバナンスの構築について

講演：「アスリート尊厳の確立と、暴力、パワーハラスメントの追放と適切な指導者を育てるために」

講師：鈴木孝雄（日本ソフトテニス連盟顧問弁護士）

〔庶務事項〕

1. 評議員会に関する事項

(1) 定時評議員会

ア. 期 日 平成 30 年 6 月 10 日 (日) 正午 開会

イ. 会 場 アワーズイン阪急 ツイン館 4 階「第 1・第 2」会議室

ウ. 決議事項

①平成 29 年度事業報告書(案)および決算報告書(案)について

②ユニフォーム等の着用基準(案)について

③補欠評議員の選任について

④役員を選任について

(2) 臨時評議員会(第 1 回)

ア. 期 日 平成 30 年 12 月 2 日 (日) 午前 9 時 30 分 開会

イ. 会 場 ワタキューセイモア(株) 5 階研究室 A

ウ. 決議事項

①補欠評議員の選任について

②大会要項の改定(案)について

③平成 30 年度第 1 次補正予算(案)について

④平成 31 年度事業計画(案)について

⑤平成 31 年度収支予算(案)について

⑥平成 31 年度評議員会日程(案)について

(3) 臨時評議員会(第 2 回 ※書面審議)

ア. 期 日 平成 31 年 3 月 28 日 (木)

イ. 決議事項

①大会日程の変更について

②2019 年度臨時評議員会の日程変更について

2. 理事会に関する事項

(1) 第 1 回理事会

ア. 期 日 平成 30 年 5 月 23 日 (水) 正午 開会

イ. 会 場 (公財) 日本ソフトテニス連盟会議室

ウ. 議決事項

①平成 29 年度事業報告書(案)および決算報告書(案)について

②第 18 回アジア競技大会日本代表選手の推薦基準について

③第 18 回アジア競技大会日本代表候補選手について

④ユニフォーム等の着用基準について

⑤1 級審判員有効期限切れの対処について

⑥全国審判員指導者研修会について

⑦用具・用品の公認申請について

⑧学識経験理事および監事について

エ. 審議事項

①新規全日本大会について

- i 全日本団体王座選手権の新設
- ii 全日本ミックスダブルス選手権の新設

- ②実業団大会の参加資格について
- ③旅費支給規程の改訂（案）について
- ④大会役員派遣規程（案）について
- ⑤マナーBOOKの抜粋版について
- ⑥会員登録制度の個人分類の変更について

(2) 第2回理事会

- ア. 期 日 平成30年6月9日（土）正午 開会
- イ. 会 場 （公財）日本ソフトテニス連盟会議室
- ウ. 議決事項

- ①平成30年度定時評議員会提案事項の確認について
- ②全日本クラブソフトテニス選手権大会の開催時期の変更について
- ③ユニフォーム等の着用基準について
- ④実業団大会の参加資格について

エ. 審議事項

- ①マナーBOOKの抜粋について

(3) 第3回理事会

- ア. 期 日 平成30年6月10日（日）15時45分（評議員会終了後）開会
- イ. 会 場 アワーズイン阪急 ツイン館会議室
- ウ. 議決事項

- ①会長・副会長・専務理事・常務理事の選任について

(4) 第4回理事会

- ア. 期 日 平成30年7月7日（土）正午 開会
- イ. 会 場 （公財）日本ソフトテニス連盟会議室
- ウ. 議決事項

- ①顧問、参与の推薦について
- ②専門委員会規程の改訂（案）について
- ③専門委員会構成について
- ④旅費規程の改訂（案）について
- ⑤大会役員派遣規程の改訂（案）について

エ. 審議事項

- ①団体王座決定戦及びミックスダブルス大会に対する対応について

(5) 第5回理事会

- ア. 期 日 平成30年9月29日（土）正午 開会
- イ. 会 場 ワタキューセイモア（株）5階研修室
- ウ. 議決事項

- ①大会要項改訂について
- ②新規全日本大会について
- ③技術等級制度規程について

- ④1級審判員有効期限切れの対応について
- ⑤1級審判員資格失効者の検定会参加について
- ⑥オンデマンドによる大会映像放映について
- ⑦用具・用品の公認について

エ. 審議事項

- ①業務執行状況の報告について
- ②平成31年度/2019年度事業計画案・予算案作成について
- ③平成30年度支部功労者・優良団体推薦手続きについて
- ④平成30年度全国広報担当者会議について
- ⑤全日本選手権大会放映について
- ⑥平成30年度1級審判員検定会・研修会について
- ⑦専門委員会委員の追加等について
- ⑧第18回アジア競技大会について
- ⑨コリアカップ選手派遣について
- ⑩第3回世界ジュニア選手権大会選手派遣について
- ⑪平成30年度日本連盟表彰式及び第18回アジア競技大会入賞者表彰・祝勝会について

(6) 第6回理事会

- ア. 期 日 平成30年11月3日(土) 正午 開会
- イ. 会 場 (公財) 日本ソフトテニス連盟会議室
- ウ. 議決事項

- ①事務局修繕積立金の開始について
- ②平成30年度第1次補正予算(案)について
- ③平成31年度事業計画(案)について
- ④平成31年度収支予算(案)について
- ⑤第16回世界選手権大会日本代表選手予選会の参加資格について
- ⑥表彰規程の改訂(案)について
- ⑦日本スポーツマスターズ2018中止に伴う取り扱いについて
- ⑧平成30年度表彰について
- ⑨第68回日本スポーツ賞について
- ⑩大会組み合わせの事前公開について
- ⑪加盟団体会長会議の開催について
- ⑫(公財)日本スポーツ協会理事および評議員の推薦について

エ. 審議事項

- ①平成31年度理事会および評議員会日程(案)について

(7) 第7回理事会

- ア. 期 日 平成30年12月1日(土) 正午 開会
- イ. 会 場 ワタキューセイモア(株)4階会議室
- ウ. 議決事項

- ①平成31年強化チーム(案)について

②大会要項の改訂（案）について

③臨時評議員会提案事項について

(8) 第8回理事会

ア. 期 日 平成31年2月23日（土）正午 開会

イ. 会 場 （公財）日本ソフトテニス連盟会議室

ウ. 議決事項

①新規公認および公認辞退について

②ソフトテニス用具・用品およびコート施設に関する公認規程の改訂について

③特定資産の運用について

④専門委員会・部会委員の変更および追加について

⑤用具・用品の公認について

⑥第16回世界選手権大会日本代表選手選考について

エ. 審議事項

①日本連盟主催大会の基本日程の提示について

②日本リーグ入替戦の日程変更について

③2020年度日本連盟主催大会スケジュールについて

④日本連盟主催大会における応援方法について

⑤ミックスダブルス選手権大会について

⑥「ユニフォーム等の着用基準について」の改訂について

⑦ゼッケンの取扱いについて

(8) 第9回理事会（書面審議）

ア. 期 日 平成31年3月18日（月）

イ. 議決事項

①大会日程の変更について

②2019年度臨時評議員会の日程変更について

3. 業務執行に関する事項

(1) 業務執行会議

① 第1回業務執行会議

ア. 期 日 平成30年5月22日（火） 12時 開会

イ. 会 場 （公財）日本ソフトテニス連盟会議室

ウ. 議 題

・業務執行状況報告

・第1回理事会議題等について

・その他

② 第2回業務執行会議

ア. 期 日 平成30年6月8日（金） 14時 開会

イ. 会 場 （公財）日本ソフトテニス連盟会議室

ウ. 議 題

・業務執行状況報告

- ・第2回理事会および定時評議員会について
- ・その他

③ 第3回業務執行会議

ア. 期 日 平成30年6月30日(土)12時 開会
 イ. 会 場 (公財)日本ソフトテニス連盟会議室
 ウ. 議 題

- ・業務執行状況報告
- ・今後の業務執行会議について
- ・専門委員会構成について
- ・大会派遣役員について
- ・旅費規程改訂案について
- ・役員派遣規程について
- ・団体王座決定戦およびミックスダブルス大会について
- ・2019年度大会日程ならびに開催地について
- ・2020年度大会日程について
- ・その他

(2) 代表理事・業務執行理事会議

①第1回代表理事・業務執行理事会議

ア. 期 日 平成30年9月29日(土)9時30分 開会
 イ. 会 場 ワタキューセイモア(株)4階会議室
 ウ. 議 題

- ・業務執行状況報告
- ・第5回理事会の議題について
- ・その他

②第2回代表理事・業務執行理事会議

ア. 期 日 平成30年11月2日(金)14時 開会
 イ. 会 場 (公財)日本ソフトテニス連盟会議室
 ウ. 議 題

- ・業務執行状況報告
- ・第6回理事会の議題について
- ・その他

③第3回代表理事・業務執行理事会議

ア. 期 日 平成30年11月30日(土)13時 開会
 イ. 会 場 ワタキューセイモア(株)2階会議室C
 ウ. 議 題

- ・業務執行状況報告
- ・第7回理事会の議題について
- ・臨時評議員会の議題について
- ・その他

④第4回代表理事・業務執行理事会議

ア. 期 日 平成31年2月22日(金)12時30分 開会

イ. 会 場 (公財)日本ソフトテニス連盟会議室

ウ. 議 題

- ・業務執行状況報告
- ・第7回理事会について
- ・臨時評議員会について
- ・その他

(3) 業務執行理事会議

①第1回業務執行理事会議

ア. 期 日 平成30年6月24日(日)12時 開会

イ. 会 場 (公財)日本ソフトテニス連盟会議室

ウ. 議 題

- ・業務執行状況報告
- ・業務執行理事会議および代表理事会議について
- ・名誉会長等選出について
- ・(公財)日本ソフトテニス連盟組織について
- ・委員会構成について
- ・事務局への指示について
- ・その他

②第2回業務執行理事会議

ア. 期 日 平成30年7月16日(月)11時 開会

イ. 会 場 (公財)日本ソフトテニス連盟会議室

ウ. 議 題

- ・業務執行状況報告
- ・専門委員会・部会の活動について
- ・団体王座決定戦、ミックスダブルス大会について
- ・2019年世界選手権予選会日程および会場について
- ・2019年世界ジュニア選手権大会派遣人数について
- ・アジア競技大会結団式について
- ・その他

③第3回業務執行理事会議

ア. 期 日 平成30年8月12日(日)12時 開会

イ. 会 場 (公財)日本ソフトテニス連盟会議室

ウ. 議 題

- ・業務執行状況報告
- ・専門委員会・部会の活動について
- ・2019年度事業計画案作成について
- ・拠点化事業開催地理事長会議について
- ・日本リーグ関係者会議について

- ・2020年度主催事業等関係者会議について
- ・小学生部会、中学生・高校生・大学生プロジェクト委員長等合同会議について
- ・オンデマンド映像放映について
- ・その他

③ 第4回業務執行理事会議

ア. 期 日 平成30年9月8日(日)15時30分 開会

イ. 会 場 静岡県草薙運動公園庭球場会議室

ウ. 議 題

- ・業務執行状況報告
- ・第5回理事会議題について
- ・拠点化事業開催地理事長会議について
- ・日本リーグ関係者会議について
- ・2020年度主催事業等関係者会議について
- ・小学生部会、中学生・高校生・大学生プロジェクト委員長等合同会議について
- ・2019年世界選手権日本代表選手選考基準について
- ・2019年国際大会について
- ・その他

⑤ 第5回業務執行理事会議

ア. 期 日 平成30年10月13日(日)11時45分 開会

イ. 会 場 (公財)日本ソフトテニス連盟会議室

ウ. 議 題

- ・業務執行状況報告
- ・第6回理事会議題について
- ・平成30年度表彰式および第18回アジア競技大会入賞者表彰・祝勝会について
- ・第18回アジア競技大会日本選手団報告会および解団式について
- ・拠点化事業について
- ・2020年度大会等に係わる日程調整について
- ・日本リーグ関係者会議について
- ・小学生部会、中学生・高校生・大学生プロジェクト委員長等合同会議について
- ・2019年世界選手権日本代表選手選考基準について
- ・その他

⑥ 第6回業務執行理事会議

ア. 期 日 平成31年1月26日(土)11時30分 開会

イ. 会 場 (公財)日本ソフトテニス連盟会議室

ウ. 議 題

- ・業務執行状況報告
- ・強化スタッフ選考について
- ・資産取得プロジェクト会議について
- ・第1回理事会の議題について
- ・海外開催大会および海外諸国との交流について

・その他

⑦業務執行理事および総務・競技・審判正副委員長合同会議

ア. 期 日 平成 31 年 3 月 16 日（土）12 時 開会

イ. 会 場 （公財）日本ソフトテニス連盟会議室

ウ. 議 題

- ・業務執行状況報告
- ・平成 30 年度事業評価について
- ・平成 31 年度事業推進について
- ・規程の改訂および新規規程作成について
- ・その他

4. 専門委員会等に関する事項

(1) 各専門委員会等諸会議を開催した。(P39)

(2) 役員選考委員会を開催した。

期日：平成 30 年 5 月 26 日（土）

会場：日本連盟会議室

(3) 監査等が、次のとおり実施された。

月	日	事業内容	会 場
5	14～16	公認会計士による会計監査	日本連盟会議室
5	16～17	監事による監査	日本連盟会議室
1	29	公認会計士による期中監査	日本連盟会議室

〈委員会・部会等 諸会議開催一覧〉

委員会・部会	開催日					
総務委員会	4/28	10/7				
企画部会	11/23	2/8	2/9			
会員登録制度部会	5/12	8/4	10/13			
IT部会	10/11	11/24				
審判委員会	4/29	10/13	3/30			
競技委員会	4/21	8/11	11/10			
プログラム編成部会	4/21	6/23	7/19	7/21	7/24	8/23
	8/24	9/6	9/19	9/24	2/24	
等級制度部会	11/11	1/24				
強化委員会	5/2	5/3	7/22	9/24	10/20	10/21
強化スタッフ部会	8/12					
指導委員会	10/27	1/14	3/17			
生涯スポーツ委員会	10/14					
小学生部会	10/14					
シニア部会	10/14					
国際委員会						
広報委員会	8/16	1/8				
機関誌編集部会	4/16	5/11	6/15	7/17	8/21	9/18
	10/22	11/21	12/17	1/18	2/14	3/18
医科学委員会	9/24					
医学部会	7/29	1/13				
アンチ・ドーピング部会	7/29					
トレーナー部会	9/24	1/27				
スポーツ科学部会						
競技者育成プログラム推進委員会	4/22	11/4				
マネジメント部会	4/22	2/3				
用具・用品・施設委員会	2/3					
環境・教育プロジェクト	5/13	10/28	3/21			
中学生対策プロジェクト						
高校生対策プロジェクト						
大学生対策プロジェクト	3/9					
資産取得プロジェクト	1/14					
小学生部会・中学生対策プロジェクト・高校生対策プロジェクト・大学生対策プロジェクト合同会議	11/10					
委員長・部会長 合同会議	2/2					

5. 役員・事務局職員に関する事項

(1) 名誉会長・名誉副会長・理事・監事・評議員

①平成30年4月1日～平成30年6月10日まで

名誉会長・名誉副会長

役職	氏名	役職	氏名
名誉会長	海部 俊樹	名誉副会長	表 孟宏

理事22名

役職	氏名	役職	氏名
会長	安道 光二	理事	川西 齋
副会長	小原 信幸		木原 晴彦
副会長	笠井 達夫		安藤 正美
副会長	本田 茂雄		白水 厚二
専務理事	野際 照章		金子 知行
常務理事	柳下 秋久		林 昭文
	丹崎 健一		林田 正信
	北本 英幸		山下 晴海
理事	川島 登		佐藤 健司
	石川 雅利		井上 光子
	篠邊 保		上山 親子

監事3名

井上 清一	萬 正一	山本 毅
-------	------	------

評議員50名

運上 琢論 (北海道)	新保 俊彦 (青森)	宮田 勤 (岩手)
松田 孝志 (宮城)	加藤 育広 (秋田)	柏倉 達雄 (山形)
小野間 幸一 (福島)	額賀 富雄 (茨城)	木所 一典 (栃木)
佐藤 栄一 (群馬)	中村 進 (埼玉)	堀越 浩 (千葉)
横山 隆二 (東京)	増田 大吾 (神奈川)	向山 淳 (山梨)
和歌浦 京子 (新潟)	原 雅幸 (長野)	高辻 則夫 (富山)
永井 茂樹 (石川)	川畑 茂 (福井)	落合 敏男 (静岡)
澤田 康彦 (愛知)	天野 晴夫 (三重)	安藤 清 (岐阜)
金井 豊 (滋賀)	増木 博一 (京都)	友谷 往弘 (大阪)
森田 賢二 (兵庫)	西森 卓也 (奈良)	花田 一弥 (和歌山)
安東 健司 (鳥取)	大地 本一到 (島根)	小野 尚彦 (岡山)
大前 秀樹 (広島)	弘中 基之 (山口)	岸本 正文 (徳島)
木下 恵司 (香川)	越智 朗 (愛媛)	横江 忠志 (高知)
湯田 純孝 (福岡)	公門 武敏 (佐賀)	馬場 信幸 (長崎)
岩下 敏和 (熊本)	福田 茂 (大分)	當瀬 純一 (宮崎)
山口 純生 (鹿児島)	宮城 正彦 (沖縄)	宮崎 正己 (日本学連)
落合 護 (高体連)	平野 富靖 (中体連)	

②平成30年6月10日より平成31年3月31日まで

名誉会長・名誉副会長

役職	氏名	役職	氏名
名誉会長	海部 俊樹	名誉副会長	表 孟宏

理事23名

役職	氏名	役職	氏名
会長	安道 光二	理事	川西 齋
副会長	笠井 達夫		木原 晴彦
副会長	津田 誠		越智 朗
副会長	星野 博		白水 厚二
専務理事	野際 照章		霊池 恵量
常務理事	安藤 正美		大房 裕司
	北本 英幸		山下 晴海
	丹崎 健一		佐藤 健司
理事	川島 登		井上 光子
	石川 雅利		上山 親子
	和歌浦 京子		神崎 公宏
	篠邊 保		

監事3名

井上 清一	鈴木 正彦	山本 毅
-------	-------	------

評議員50名

運上 琢諭 (北海道)	新保 俊彦 (青森)	宮田 勤 (岩手)
松田 孝志 (宮城)	加藤 育広 (秋田)	柏倉 達雄 (山形)
小野間 幸一 (福島)	額賀 富雄 (茨城)	木所 一典 (栃木)
佐藤 栄一 (群馬)	中村 進 (埼玉)	堀越 浩 (千葉)
横山 隆二 (東京)	増田 大吾 (神奈川)	向山 淳 (山梨)
国島 孝志 (新潟) ※	原 雅幸 (長野)	高辻 則夫 (富山)
永井 茂樹 (石川)	川畑 茂 (福井)	落合 敏男 (静岡)
澤田 康彦 (愛知)	天野 晴夫 (三重)	安藤 清 (岐阜)
金井 豊 (滋賀)	増木 博一 (京都)	友谷 往弘 (大阪)
森田 賢二 (兵庫)	西森 卓也 (奈良)	花田 一弥 (和歌山)
安東 健司 (鳥取)	大地 本一到 (島根)	小野 尚彦 (岡山)
大前 秀樹 (広島)	弘中 基之 (山口)	岸本 正文 (徳島)
木下 恵司 (香川)	越智 克昌 (愛媛) ※	横江 忠志 (高知)
湯田 純孝 (福岡)	公門 武敏 (佐賀)	金子 正剛 (長崎)
岩下 敏和 (熊本)	福田 茂 (大分)	當瀬 純一 (宮崎)
辛島 康明 (鹿児島)	宮城 正彦 (沖縄)	宮崎 正己 (日本学連)
落合 護 (高体連)	平野 富靖 (中体連)	

※平成30年度臨時評議員会より

(2) 専門委員会・部会

①平成30年4月1日～平成30年6月10日まで

総務委員会	委員長		副委員長 丹崎 健一 (東京)		
	委員	川島 登 (福島)	白水 厚二(大分)	金子知行(高体連)	運上 琢輪(北海道)
会員登録制度部会	部会長	川島 登(福島)			
	委員	井上 光子(千葉)	白水 厚二(大分)	林 昭文(中体連)	
		北 正三 (埼玉)			
IT部会	部会長	北 正三 (埼玉)			
	委員	天野 晴夫(三重)	君塚 亮一(神奈川)	増山 良夫(東京)	

審判委員会	委員長	林田 正信(熊本)	副委員長 上山 親子(大阪)		
	委員	川西 斎 (奈良)	木原 晴彦(広島)	柳下 秋久(東京)	山下 晴海(埼玉)
		今井 史郎(東京)	小田 宗雄(熊本)	北 正三 (埼玉)	木下 道夫(東京)
		君塚亮一(神奈川)	田村 忠士(広島)	笛岡 宣明(愛知)	牧 壮一 (愛知)
	森 純 (宮城)	渡辺はるみ(北海道)			

競技委員会	委員長	柳下 秋久(東京)	副委員長 安藤 正美(香川)		
	委員	石川 雅利(千葉)	井上 光子(千葉)	篠邊 保 (愛知)	佐藤 健司(東京)
プログラム編成部会	部会長	長岡 敏久(埼玉)			
	委員	井上 光子(千葉)	佐藤 健司(東京)	山下 晴海(埼玉)	石坂 欣也(東京)
		井上まゆ美(東京)	小笠原浩二(東京)	小俣 三男(埼玉)	織原真由美(東京)
		木谷 順三(千葉)	木所 一典(栃木)	木村 眞敏(埼玉)	高川恵美子(東京)
		高橋 道子(埼玉)	中野 吉広(東京)	成島 厚子(東京)	藤原 芳子(東京)
		増山 良夫(東京) (平成29年7月7日逝去)	山口 眞護(東京)		
等級制度部会	部会長	今井 史郎(東京)			
	委員	篠邊 保 (愛知)	安達 和紀(鳥取)	大中 和彦(神奈川)	岡村 勝幸(山梨)
		木下 道夫(東京)	吉田 茂 (福島)		

強化委員会	委員長	北本 英幸(石川)	副委員長 小野寺 剛(東京)		
	委員	安藤 正美(香川)	篠邊 保 (愛知)	井田 博史(東京)	神崎 公宏(三重)
		斉藤 広宣(千葉)	高川 経生(東京)	田中 弘 (東京)	中堀 成生(広島)
		川村 達郎(千葉)			

指導委員会	委員長	篠邊 保 (愛知)	副委員長 井田 博史(東京)		
	委員	北本 英幸(石川)	浅川 陽介(東京)	安達 和紀(鳥取)	小野寺 剛(東京)
		小峯 秋二(富山)	高井 志保(大阪)	玉井俊充(和歌山)	百町 善明(京都)

生涯スポーツ委員会	委員長	石川 雅利(千葉)	副委員長 白水 厚二(大分)		
	委員	井上 光子(千葉)	上山 親子(大阪)	川西 斎 (奈良)	林 昭文(中体連)
		落合 護(高体連)	普天間富士子(沖縄)		
小学生部会	部会長	金岡 昭房(宮城)			
	委員	宇野 一行(愛媛)	小野 道康(新潟)	川並久美子(和歌山)	國枝 俊子(岐阜)
		小西 俊博(香川)	芝地 康幸(兵庫)	中村 正広(福岡)	畠山 洋二(広島)
廣島義春(北海道)	松口康彦(神奈川)				
シニア部会	部会長	川西 斎 (奈良)			
	委員	佐藤 健司(東京)	白水 厚二(大分)	鍵 茂 (宮城)	時任 宥幸(東京)
		保倉 謙治(埼玉)	山村 嘉一(千葉)	横野久美子(愛知)	

国際委員会	委員長	丹崎 健一(東京)	副委員長 木原 晴彦(広島)		
	委員	赤須 由佳(三重)	安達 和紀(鳥取)	蒲原 英敏(広島)	古賀 俊彦(京都)
		関川 丈彦(新潟)	玉木 進 (東京)	角田 光央(東京)	福崎 穰司(広島)
松井愛美(神奈川)	山口 正紀(広島)				

広報委員会	委員長	山下 晴海(埼玉)	副委員長 安藤 正美(香川)		
	委員	石川 雅利(千葉)	井上 光子(千葉)	柳下 秋久(東京)	大野 勝敏(埼玉)
		玉木 進 (東京)	中山 俊介(東京)	萩原廣一(神奈川)	
機関誌編集部	部会長	井上 光子(千葉)			
	委員	石川 雅利(千葉)	佐藤 健司(東京)	山下 晴海(埼玉)	赤井 宏司(東京)
		近藤 貴予(東京)	鈴木 学 (埼玉)		

医科学委員会	委員長	山本 裕二(愛知)	副委員長 石川 雅利(千葉)		
	委員	川上 晃司(兵庫)	工藤 敏己(宮城)	永井 博典(東京)	藤島 淑子(東京)
	医学部会	部会長	永井 博典(東京)		
委員		川野 因(神奈川)	出家 正隆(愛知)	藤島 淑子(東京)	見附 祥子(広島)
アンチ・ドーピング部会	委員	守重 昌彦(兵庫)	山田 隆 (東京)		
		部会長	藤島 淑子(東京)		
	委員	丹崎 健一(東京)	井田 博史(東京)	上遠野 久美(福島)	玉木 進 (東京)
トレーナー部会	委員	見附 祥子(広島)	永井 博典(東京)		
	部会長	川上 晃司(兵庫)			
スポーツ科学部会	委員	高嶋 直美(東京)	永野 康治(東京)	見附 祥子(広島)	吉川友己奈(京都)
		部会長	工藤 敏己(宮城)		
	委員	井田 博史(東京)	緒方 貴浩(東京)	楠堀 誠司(広島)	永野 康治(東京)
福原和伸(神奈川)	水野 哲也(千葉)	村山 孝之(石川)	山本 裕二(愛知)		

《特別委員会》

競技者資格委員会	委員長	安道 光二(京都)	副委員長 野際 照章(京都)		
	委員	笠井達夫(神奈川)	小原 信幸(岡山)	本田 茂雄(宮城)	井上 光子(千葉)
		林 昭文(中体連)	柳下 秋久(東京)	金子知行(高体連)	

倫理委員会	委員長	小原 信幸(岡山)	副委員長 野際 照章(京都)		
	委員	笠井達夫(神奈川)	本田 茂雄(宮城)	柳下 秋久(東京)	

競技者育成プログラム 推進委員会	委員長	野際 照章(京都)	副委員長 山下 晴海(埼玉)		
	委員	北本 英幸(石川)	木原 晴彦(広島)	篠邊 保 (愛知)	白水 厚二(大分)
		林 昭文(中体連)	林田 正信(熊本)	柳下 秋久(東京)	金子知行(高体連)
井上 創 (兵庫)		小野寺 剛(東京)	神崎 公宏(三重)	宮崎正己(日本学連)	
競技者育成部会	部会長	北本 英幸(石川)			
	委員	安達 和紀(鳥取)	池田 征弘(京都)	小峯 秋二(富山)	斉藤 広宣(千葉)
		高井 志保(大阪)	田中 弘 (東京)	中津川澄男(宮城)	橋本 康徳(京都)
指導者育成部会	部会長	篠邊 保 (愛知)			
	委員	北本 英幸(石川)	浅川 陽介(東京)	小野寺 剛(東京)	斉藤 広宣(千葉)
		高井 志保(大阪)	高橋 茂(東京)	田中 弘 (東京)	松口康徳(神奈川)
マネジメント部会	部会長	井上 創 (兵庫)			
	委員	天野 晴夫(三重)	岩下 敏和(熊本)	越智 克昌(愛媛)	千葉 英明(宮城)
		手嶋 信彦(広島)	増田大吾(神奈川)	溝淵俊二(和歌山)	山田 浩一(石川)

用具・用品・施設委員会	委員長	野際 照章(京都)	副委員長 柳下 秋久(東京)		
	委員	木原 晴彦(広島)	佐藤 健司(東京)	山下 晴海(埼玉)	浅川 陽介(東京)

国際振興プロジェクト	委員長	丹崎 健一(東京)	副委員長 古賀 俊彦(京都)		
	委員	佐々木寿(北海道)	玉木 進 (東京)		

環境・教育 プロジェクト	委員長	川島 登 (福島)	副委員長 井上 光子(千葉)		
	委員	安藤 正美(香川)	木原 晴彦(広島)	林 昭文(中体連)	林田 正信(熊本)
		柳下 秋久(東京)	金子知行(高体連)	岡村 勝幸(山梨)	金岡 昭房(宮城)
		林研一(日本学連)			

東京オリンピック 対策プロジェクト	委員長	丹崎 健一(東京)	副委員長 佐藤 健司(東京)		
	委員	内田 裕行(東京)	岡村 勝幸(山梨)	小峯 秋二(富山)	玉木 進 (東京)
		柳澤 昌彦(東京)	横山 隆二(東京)		

②平成30年6月10日より平成31年3月31日まで

総務委員会	委員長	石川 雅利(千葉)	副委員長 木原 晴彦(広島)		
	委員	浅川 陽介(東京)	安藤 正美(香川)	大地本一到(島根)	北本 英幸(石川)
		丹崎 健一(東京)			
企画部会	部会長	加藤 育広(秋田)	副部会長 山下 晴海(埼玉)		
	委員	石川 雅利(千葉)	運上 琢論(北海道)	榎並 紳吉(東京)	香川 翔(香川)
		篠原 秀典(東京)	清水 論(茨城)	永井 茂樹(石川)	星 祥子(東京)
		松田 恵示(東京)	脇田 愛(神奈川)		
会員登録制度部会	部会長	越智 朗(愛媛)	副部会長 森田 賢二(兵庫)		
	委員	井上 光子(千葉)	宮田 勤(岩手)		
IT部会	部会長	天野 晴夫(三重)	副部会長 和歌浦 京子(新潟)		
	委員	小野 尚彦(岡山)	木下 恵司(香川)		

審判委員会	委員長	木原 晴彦(広島)	副委員長 佐藤 健司(東京)		
	委員	小田 宗雄(熊本)	越智 朗(愛媛)	川島 裕和(石川)	田村 忠士(広島)
		牧 壮一(愛知)	増木 博一(京都)	森 純(宮城)	

競技委員会	委員長	安藤 正美(香川)	副委員長 佐藤 健司(東京)		
	委員	岩下 敏和(熊本)	成田 扶美代(大阪)	吉田 茂(福島)	
	プログラム編成部会	部会長	長岡 敏久(埼玉)	副部会長 佐藤 健司(東京)	
委員		安達 和紀(鳥取)	石坂 欣也(東京)	井上まゆ美(東京)	上山 親子(大阪)
		小笠原浩二(東京)	越智 朗(愛媛)	小野 道康(新潟)	小俣 三男(埼玉)
		織原真由美(東京)	川口さつき(東京)	木所 一典(栃木)	黒瀬 麗子(静岡)
		芝地 康幸(兵庫)	東海林 裕晴(秋田)	中野 吉広(東京)	成島 厚子(東京)
		西木 宏(徳島)	藤原 芳子(東京)	山口 眞護(東京)	
等級制度部会	部会長	岡村 勝幸(山梨)	副委員長 白水 厚二(大分)		
	委員	荒井 隆(香川)	上山 親子(大阪)	佐藤 栄一(群馬)	

強化委員会	委員長	北本 英幸(石川)	副委員長 神崎 公宏(三重)		
	委員	小野寺 剛(東京)	川上 晃司(兵庫)	篠邊 保(愛知)	田中 弘(東京)
	強化スタッフ部会	部会長	神崎 公宏(三重)	副委員長 北本 英幸(石川)	
委員		伊加 英隆(香川)	池田 征弘(京都)	斉藤 広宣(千葉)	高井 志保(大阪)
		田中 弘(東京)	中堀 成生(広島)	橋本 康徳(京都)	堀 晃大(広島)

指導委員会	委員長	篠邊 保(愛知)	副委員長 井田 博史(東京)		
	委員	浅川 陽介(東京)	安達 和紀(鳥取)	小野寺 剛(東京)	北本 英幸(石川)
		高井 志保(大阪)	玉井俊充(和歌山)	松元 誠二(福岡)	

生涯スポーツ委員会	委員長	川西 齊(奈良)	副委員長 白水 厚二(大分)		
	委員	川島 登(福島)	椎名 顕子(愛媛)	普天間富士子(沖縄)	
小学生部会	部会長	長岡 敏久(埼玉)	副部会長 和歌浦 京子(新潟)		
	委員	宇野 一行(愛媛)	友谷 往弘(大阪)	畠山 洋二(広島)	花園 安紀(東京)
		廣島義清(北海道)	渡瀬 義正(静岡)	中村 正広(福岡)	
シニア部会	部会長	白水 厚二(大分)	副部会長 石川 雅利(千葉)		
	委員	鍵 茂(宮城)	横野久美子(愛知)		

国際委員会	委員長	丹崎 健一(東京)	副委員長 角田 光央(東京)		
	委員	赤須 由佳(三重)	蒲原 英敏(広島)	木原 晴彦(広島)	関川 丈彦(新潟)
		玉木 進(東京)	藤島 淑子(神奈川)	松井愛美(神奈川)	

広報委員会	委員長	山下 晴海(埼玉)	副委員長 皆呂 充亮(東京)		
	委員	上山 親子(大阪)	大野 勝敏(埼玉)	工藤 聡子(青森)	佐藤 成敏(岩手)
		田中 和雄(広島)	萩原廣一(神奈川)		
機関誌編集部会	部会長	井上 光子(千葉)	副部会長 赤井 宏司(東京)		
	委員	臼田 弘(千葉)	鬼束 二三江(神奈川)	近藤 貴予(東京)	

医科学委員会	委員長	山本 裕二(愛知)	副委員長 川西 斎(奈良)		
	委員	川上 晃司(兵庫)	工藤 敏巳(宮城)	藤島 淑子(神奈川)	守重 昌彦(東京)
医学部会	部会長	守重 昌彦(東京)	副部会長 丹崎 健一(東京)		
	委員	今井 愛(神奈川)	梶山 祥子(広島)	川野 因(神奈川)	出家 正隆(愛知)
		永井 博典(東京)	藤島 淑子(神奈川)	藤本 陽(静岡)	目加田 優子(東京)
	山田 隆(東京)				
アンチ・ドーピング部会	部会長	藤島 淑子(神奈川)	副部会長 井上 光子(千葉)		
	委員	井田 博史(東京)	梶山 祥子(広島)	上遠野 久美(福島)	玉木 進(東京)
		永井 博典(東京)	守重 昌彦(東京)		
トレーナー部会	部会長	川上 晃司(兵庫)	副部会長 川西 斎(奈良)		
	委員	東 知宏(北海道)	梶山 祥子(広島)	兼平 智孝(宮城)	工藤 梨乃(兵庫)
		桑原 亜香音(神奈川)	小亀 裕美(兵庫)	阪根 ちひろ(京都)	高川 亜紀(広島)
		田中 京介(熊本)	中野 道治(大阪)	永野 康治(東京)	深間内 誠(三重)
	吉川友己奈(京都)				
スポーツ科学部会	部会長	工藤 敏巳(宮城)	副部会長 川島 登(福島)		
	委員	井田 博史(東京)	緒方 貴浩(東京)	川上 晃司(兵庫)	篠原 秀典(東京)
		永野 康治(東京)	福原和伸(神奈川)	水野 哲也(千葉)	村山 孝之(石川)
	山本 裕二(愛知)				

《特別委員会》

競技者資格委員会	委員長	安道 光二(京都)	副委員長 野際 照章(京都)		
	委員	笠井達夫(神奈川)	津田 誠(愛知)	星野 博(東京)	安藤 正美(香川)

倫理委員会	委員長	笠井達夫(神奈川)	副委員長 野際 照章(京都)		
	委員	星野 博(東京)	津田 誠(愛知)	石川 雅利(千葉)	安藤 正美(香川)

指導基本規程違反 救済審査委員会	委員長	鈴木 孝雄(神奈川)	副委員長 野際 照章(京都)		
	委員	金子 知行(千葉)	林 昭文(東京)	大槻 麗(福島)	

競技者育成プログラム 推進委員会	委員長	野際 照章(京都)	副委員長 篠邊 保(愛知)		
	委員	安達 和紀(鳥取)	井上 創(兵庫)	井上 光子(千葉)	大房 裕司(中体連)
		北本 英幸(石川)	木下 恵司(香川)	小林 幸司(東京)	白幡 光(山形)
		霊池 恵量(高体連)	林 三千夫(和歌山)	洲野 ひかる(佐賀)	松浦 誠(宮崎)
マネジメント部会	部会長	井上 創 (兵庫)	副部会長 越智 朗 (愛媛)		
	委員	天野 晴夫(三重)	岩下 敏和(熊本)	岡村 勝幸(山梨)	越智 克昌(愛媛)
		千葉 英明(宮城)	手嶋 信彦(広島)	溝渕俊二(和歌山)	山田 浩一(石川)

用具・用品・施設委員会	委員長	野際 照章(京都)	副委員長 安藤 正美(香川)		
	委員	運上 琢論(北海道)	神崎 公宏(三重)	木原 晴彦(広島)	重平 静洋(大阪)

環境・教育 プロジェクト	委員長	川島 登 (福島)	副委員長 丹崎 健一(東京)		
	委員	岡村 勝幸(山梨)	白水 厚二(大分)	新保 俊彦(青森)	林 研一(熊本)
		和歌浦京子(新潟)			

中学生対策プロジェクト	委員長	大房 裕司(中体連)	副委員長 篠邊 保(愛知)		
	委員	安藤 正視(東京)	岸本 正文(徳島)	高橋 茂(東京)	霊池 恵量(高体連)
		山下 晴海(埼玉)			

高校生対策プロジェクト	委員長	霊池 恵量(高体連)	副委員長 山下 晴海(埼玉)		
	委員	上山 親子(大阪)	大槻 範和(長崎)	大房 裕司(中体連)	川西 斎(奈良)
		土居 大語(高知)	根本 光泰(宮城)		

大学生対策プロジェクト	委員長	神崎 公宏(三重)	副委員長 宮崎 正己(学連)		
	委員	北本 英幸(石川)	佐藤 健司(東京)	佐藤 順一(学連)	田中 克彦(学連)

資産取得プロジェクト	委員長	野際 照章(京都)	副委員長 神崎 公宏(三重)		
	委員	安藤 正美(香川)	加藤 育広(秋田)	斉藤 広宣(千葉)	當瀬 純一(宮崎)

3) 顧問・参与・事務局職員等

①平成30年4月1日～平成30年6月10日まで

顧問

松田 謙治	内田 昌一	北村 和久	西村 信寛
-------	-------	-------	-------

参与

重田 衛	柳田 昌作	水野 明人	米山 勉	木村 純之
高松 政男	中山 昌作	伊野 二彦	内藤 享佑	吉田 敏彦
星野 博	西田 豊明	宮下 恭子	斉藤 元三	吉田 博紀
神崎 公宏				

事務局職員

事務局長	荒木 朋子	平成29年8月1日～ (事務局次長：平成28年9月1日～平成29年7月31日) (職員：平成3年5月1日～)
職員	大八木 洋子	平成13年4月1日～
	堀内 大	平成26年1月14日～
	渡辺 貴大	平成28年9月1日～
	上岡 大樹	平成29年7月1日～
	高田 義治	平成29年9月1日～

- ※顧問弁護士 鈴木 孝雄 氏
- ※公認会計士 櫻井 資悦 氏
- ※税理士 加藤 貴大 氏 (税理士法人みなと財務)

②平成30年6月10日より平成31年3月31日まで

顧問

内田 昌一	北村 和久	小原 信幸	西村 信寛	本田 茂雄
-------	-------	-------	-------	-------

参与

重田 衛	柳田 昌作	水野 明人	米山 勉	木村 純之
伊野 二彦	斉藤 元三	高松 政男	内藤 享佑	中山 昌作
西田 豊明	宮下 恭子	柳下 秋久	吉田 敏彦	吉田 博紀
萬 正一				

事務局職員

事務局長	荒木 朋子	平成29年8月1日～ (事務局次長：平成28年9月1日～平成29年7月31日) (職員：平成3年5月1日～)
職員	大八木 洋子	平成13年4月1日～
	堀内 大	平成26年1月14日～
	渡辺 貴大	平成28年9月1日～平成30年12月31日
	上岡 大樹	平成29年7月1日～
	高田 義治	平成29年9月1日～平成31年1月31日

- ※顧問弁護士 鈴木 孝雄 氏
- ※公認会計士 櫻井 資悦 氏
- ※税理士 加藤 貴大 氏 (税理士法人みなと財務)

6. 会員登録に関する事項

(1) 年度別会員登録人数

(数値：人数)

種別	指導者	一般	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	合計
平成30年度	11,543	45,457	18,720	253,100	83,464	1,014	7,613	420,911
平成29年度	11,278	46,143	19,568	268,007	85,176	1,069	7,876	439,117
平成28年度	11,073	46,346	19,728	280,857	85,632	1,037	7,945	452,618
平成27年度	10,572	46,683	19,412	288,530	84,365	1,023	7,690	458,275
平成26年度	9,963	47,230	17,566	289,506	82,964	1,056	7,669	455,954
平成25年度	9,268	48,324	17,260	286,326	81,402	1,037	7,610	451,227
平成24年度	8,751	49,279	17,174	284,478	82,510	1,005	7,800	450,997
平成23年度	7,771	50,221	17,298	284,886	81,730	918	8,076	450,900
平成22年度	6,885	51,525	18,083	285,617	83,555	950	8,492	455,107
平成21年度	5,482	51,214	17,986	291,640	85,841	846	8,499	461,508

(注) 都道府県別会員数は別表4(P60)に掲載。

7. 分担金に関する事項

(1) 支部分担金 一律 150,000 円×50 支部 7,500,000 円

(2) 会員登録料

(単位：円)

種別	指導者	一般	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	合計
平成30年度	11,543,000	45,458,000	9,360,000	126,550,000	41,732,000	507,000	3,806,500	238,955,500
平成29年度	11,278,000	46,143,000	9,784,000	134,003,500	42,588,000	534,500	3,938,000	248,269,000

(3) 維持会費

ア. 公認メーカー26社：延50社(前年度50社) (単位：円)

種別	ラケット	ボール	ネット	ストリング	ユニフォーム	シューズ
平成30年度	8社	3社	9社	5社	13社	12社
	800,000	8,280,000	900,000	3,300,000	15,080,000	5,760,000
平成29年度	8社	3社	9社	5社	13社	12社
	800,000	8,280,000	900,000	3,300,000	14,790,000	5,760,000

〈事業者名〉

用具・用品	公認メーカー
ラケット 8社	カワサキ・ミズノ・ヨネックス・ゴーセン・住友ゴム工業・グローブライド・ティエムシー・ジャパーナ
ボール 3社	昭和ホールディングス・ナガセケンコー・住友ゴム工業
ネット 9社	鐘屋産業・アシックスジャパン・寺西喜商店・ミセキネット・昭和ホールディングス・高須賀・ティエヌネット・鶴沢ネット・豊貿易
ストリング 5社	ゴーセン・トアルソン・ヨネックス・住友ゴム工業・ミズノ
ユニフォーム 13社	カワサキ・ミズノ・昭和ホールディングス・ヨネックス・ゴーセン・アシックスジャパン・ゴールドウィン・ナイキジャパン・住友ゴム工業・アディダスジャパン・グローブライド・ニューバランスジャパン・ディーエムアール
シューズ 12社	アシックスジャパン・ヨネックス・ナイキジャパン・アディダスジャパン・住友ゴム工業・ミズノ・グローブライド・ゴールドウィン・ニューバランスジャパン・アメアスポーツジャパン・ディーエムアール・フォワードアパレルトレーディング

イ. 施設業者 7社：延べ 8社（前年度 8社）（単位：円）

種別	砂入り人工芝		人工クレーコート	
平成 30 年度	7 社	3,500,000	1 社	500,000
平成 29 年度	7 社	3,500,000	1 社	500,000

〈事業者名〉

施設・製造	業者名
砂入り人工芝 製造業者 7社	住友ゴム工業・積水樹脂・大塚ターフテック 東レアムテックス・ダイヤテックス・大嘉産業・泉州敷物
人工クレーコート 製造業者 1社	大塚ターフテック

ウ. 一般 61件 計 790,000円（前年度 69件 計 950,000円）（単位：円）

50,000	安道光二	京都						
30,000	笠井達夫	神奈川	稲門クラブ	東京	ゴーセン		ミズノ	
20,000	岩手県連盟		長野県連盟		三田倶楽部	スポーツインテリジェンス		
	ティエヌネット		ナガセケンコー					
10,000	本田茂雄	宮城	鍵 茂	宮城	金岡昭房	宮城	萬 正一	秋田
	川島 登	福島	高松政男	栃木	鈴木正彦	群馬	佐藤栄一	群馬
	長岡敏久	埼玉	山下晴海	埼玉	中村 進	埼玉	石川雅利	千葉
	井上光子	千葉	西村信寛	東京	柳下秋久	東京	丹崎健一	東京
	玉木 進	東京	佐藤健司	東京	小野寺剛	東京	井田博史	東京
	藤島淑子	神奈川	小野道康	新潟	永井茂樹	石川	鷲頭典利	静岡
	落合敏男	静岡	中村 修	愛知	斉藤元三	愛知	篠邊 保	愛知
	笛岡宣明	愛知	山本裕二	愛知	北村和久	三重	天野晴夫	三重
	神崎公宏	三重	山本 毅	京都	宮下恭子	大阪	上山親子	大阪
	川西 斎	奈良	小野尚彦	岡山	今井誠則	広島	木原晴彦	広島
	大前秀樹	広島	蒲原英敏	広島	安藤正美	香川	香川 翔	香川
	中村正広	福岡	林 研一	熊本	白水厚二	大分	宮崎正己	日本学連
霊池恵量	高体連	落合 護	高体連					

8. 補助金・助成金等に関する事項

(1) 補助金 合計額 11,517,000 円 (前年度 14,630,000 円) (単位：円)

(公財)日本オリンピック委員会	選手強化事業	11,517,000
-----------------	--------	------------

(2) 助成金 合計額 62,895,860 円 (前年度 61,794,160 円) (単位：円)

(独法)日本スポーツ振興センター(スポーツ振興基金助成金)	競技会開催(全日本選手権大会)	2,801,000
	競技会開催(JOCジュニアオリンピックカップ/全日本ジュニア選手権大会)	1,009,000
	指導者研修会	1,313,000
	小計	5,123,000
(独法)日本スポーツ振興センター(スポーツ振興くじ)	競技者育成プログラム(Step-1~Step-3)	51,667,000
	ドーピング検査	3,558,000
	小計	55,225,000
福井しあわせ元気国体実行委員会	国民体育大会役員旅費	783,860
(公財)ヨネックススポーツ財団	全日本若手キャンプ助成金	440,000
(公財)ミズノスポーツ振興財団	ジュニア育成に対する助成金	1,000,000

(3) 交付金 合計額 11,435,600 円 (前年度 10,161,360 円) (単位：円)

(公財)日本オリンピック委員会	マーケティングプログラム交付金	10,964,000
	JOCジュニア選手強化交付金	200,000
(公財)日本スポーツ協会	日本スポーツマスターズ運営補助交付金	213,600
	スポーツ指導者育成交付金	58,000

(4) 委託金 合計額 754,881 円 (前年度 1,195,540 円) (単位：円)

(公財)日本スポーツ協会	日本スポーツマスターズ委託金	133,240
	公認コーチ養成講習会委託金	621,641

9. 寄付金・協賛金に関する事項

(1) 協賛金 合計額 39,750,000 円 (前年度 34,800,000 円) (単位：円)

ミズノ(株)「ユニフォームオフィシャルサプライヤー協賛金」	23,000,000
ミズノ(株)「国際振興協賛金」	3,000,000
ミズノ(株)「全日本インドア選手権大会協賛金」	250,000
(株)ゴーセン「ストリングオフィシャルサプライヤー協賛金」	7,500,000
ナガセケンコー(株)「大会使用球協賛金」	2,000,000
昭和ホールディングス(株)「大会使用球協賛金」	2,000,000
住友ゴム工業(株)「大会使用球協賛金」	2,000,000

10. 傷害補償制度の給付金に関する事項

34件、1,221,000円を給付した。(前年度：30件 978,000円)

(単位：件)

年度	アキレス腱断裂	骨折	靭帯損傷	肉離れ	捻挫	その他	死亡	計
平成30年度	4	14	6	2	3	5	0	34
平成29年度	5	7	3	7	7	1	1	30

(内訳)

(単位：件)

傷害の内容	一般	大学生	高専	高校生	中学生	小学生	計
アキレス腱断裂	4						4
骨折	7			1	4	2	14
靭帯損傷	4	1		1			6
肉離れ	2						2
捻挫	1				2		3
その他	5						5
死亡							
計							34

大会一覧表

別表1

月	日	大会名	種別	会場	参加者数
4	14・15	第18回 アジア競技大会日本代表選手予選会	男子シングルス	広島県広島市	22
			女子シングルス	広島広域公園テニスコート	20
			小計		42
5	19・20	第25回全日本シングルス選手権大会	男子シングルス	青森県青森市	241
			女子シングルス	新青森県総合運動公園テニスコート	217
			小計		458
6	20・24	第47回ハイスクールジャパンカップ	男子ダブルス	北海道札幌市 円山庭球場	144
			女子ダブルス		144
			男子シングルス		64
			女子シングルス		64
			小計		416
	23・24	西日本シニア選手権大会	シニア男45	宮崎県宮崎市 生目の杜運動公園テニスコート KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園 テニスコート	56
			シニア女45		42
			シニア男50		82
			シニア女50		54
			シニア男55		68
			シニア女55		74
			シニア男60		124
			シニア女60		106
			シニア男65		114
			シニア女65		96
			シニア男70		86
			シニア女70		46
			シニア男75		30
			シニア女75		34
			シニア男80		22
シニア女80	12				
小計		1,046			
7	14・15	第73回東日本選手権大会 (一般・35・45)	一般男子	茨城県神栖市 神栖市海浜運動公園 茨城県北茨城市 磯原地区公園	648
			一般女子		258
			男子35		158
			女子35		48
			男子45		104
			女子45		62
	小計		1,278		
	21・22	第73回東日本選手権大会 (シニア)	シニア男50	栃木県宇都宮市 栃木県総合運動公園 栃木県栃木市 栃木市総合運動公園	120
			シニア女50		98
			シニア男55		98
			シニア女55		86
			シニア男60		138
			シニア女60		128
			シニア男65		144
			シニア女65		108
シニア男70			104		
シニア女70			108		
シニア男75			66		
シニア女75			44		
シニア男80			28		
シニア女80			24		
小計		1,294			

7	21・22	第72回西日本選手権大会	一般男子	大分県大分市 大分スポーツ公園だいぎんテニスコート	398
			一般女子		212
			男子35		102
			女子35		20
			小計		732
	26～29	第35回全日本小学生選手権大会	男子団体	愛媛県今治市	752
			女子団体	今治市営スポーツパークテニスコート	752
			男子ダブルス	今治市営桜井スポーツランドテニスコート	752
			女子ダブルス		752
			小計	3,008	
30～6	全日本高校選手権大会	男子個人	三重県鈴鹿市 三重交通Gスポーツの杜鈴鹿庭球	636	
		男子団体		384	
		女子個人		636	
		女子団体		384	
		小計		1,020	
8	1～3	第45回全日本レディース(個人戦)	ふじ(初心者)	和歌山県和歌山市 つつじが丘テニスコート 紀三井寺公園庭球場 和歌山ビッグホエール・ビッグウェーブ 白浜町テニスコート	62
			すみれ(満20歳以上)		36
			ばら(40歳以上)		112
			ゆり(50歳以上)		126
			さく(55歳以上)		142
			あやめ(60歳以上)		296
			はぎ(65歳以上)		268
			さつき(70歳以上)		236
			さくら(75歳以上)		152
			もも(80歳以上)		84
			小計		1,514
	3～5	男子第63回・女子第62回 全日本実業団選手権大会	男子団体	茨城県北茨城市・日立市	990
			女子団体	磯原地区公園テニスコート他	114
	小計	1,104			
	6～11	全日本学生選手権大会 第72回文部科学大臣杯(大学対抗) 第73回三笠宮賜杯(ダブルス) 第60回全日本学生シングルス選手権大会	男子大学対抗	岡山県岡山市	510
女子大学対抗			浦安総合公園テニスコート	384	
男子ダブルス			岡山県総合グラウンド南テニスコート	1,086	
女子ダブルス			岡山県備前市	736	
男子シングルス			備前テニスセンター	130	
女子シングルス				117	
小計	2,963				
17～19	第40回全日本レディース決勝大会 (都道府県対抗団体戦)	都道府県対抗	宮城県仙台市 泉庭球場、シェルコムせんだい	480	
21・23	第49回全国中学校大会	男子個人	広島県尾道市 広島県立びんご運動公園	128	
		女子個人		128	
		男子団体		200	
		女子団体		200	
		小計		656	
9	8・9	第46回 全日本社会人選手権大会	一般男子ダブルス	静岡県静岡市 他	612
			一般女子ダブルス	静岡県草薙総合運動上庭球場	228
			男子ダブルス35	静岡市有度山総合公園運動施設テニスコート	272
			女子ダブルス35	浜松市花川運動公園テニスコート	48
			男子ダブルス45		172
			女子ダブルス45		82
			小計	1,414	

9	15・16	JOCジュニアオリンピックカップ大会 第25回全日本ジュニア選手権大会	男子U-20	広島県広島市	31
			女子U-20	広島翔洋テニスコート(広島市中央庭球場)	29
			男子U-17	広島市中央バレーボール場	27
			女子U-17		31
			男子U-14		24
			女子U-14		24
	小計				166
	21～23	第22回 全日本シニア選手権大会	男子ダブルス50	佐賀県佐賀市 他	138
			女子ダブルス50	佐賀県立森林公園テニスコート	114
			男子ダブルス55	唐津市松浦河畔公園庭球場	138
			女子ダブルス55	佐賀県総合運動場庭球場	100
			男子ダブルス60		200
			女子ダブルス60		160
			男子ダブルス65		118
			女子ダブルス65		118
			男子ダブルス70		142
			女子ダブルス70		78
			男子ダブルス75		56
			女子ダブルス75		26
			男子ダブルス80		30
女子ダブルス80				32	
混合 ダブルス50		70			
混合 ダブルス55		74			
混合 ダブルス60		126			
混合 ダブルス65		132			
混合 ダブルス70		68			
小計				1,920	
10	6～11	第73回国民体育大会	少年男子	福井県福井市	96
			少年女子	わかばテニスコート	282
			成年男子	福井県越前市	126
			成年女子	武生中央公園庭球場	144
	小計				648
	19～21	第73回 天皇賜杯・皇后賜杯 全日本選手権大会	男子ダブルス	熊本県熊本市	340
			女子ダブルス	熊本県民総合運動公園メインテニスコート他	316
	小計				656
	26～28	第32回日本実業団リーグ	男子団体	京都府福知山市	235
			女子団体	福知山市三段池公園テニスコート	41
小計				276	
27～28	第25回 全日本クラブ選手権大会	男子団体	千葉県白子町	1,292	
		女子団体	千葉県白子町サニーテニスコート	325	
小計				1,617	
11	16～19	第13回ジュニアジャパンカップ	男子シングルス(U-14)		42
			女子シングルス(U-14)	宮崎県宮崎市	42
			男子シングルス(U-17)	生目の杜運動公園テニスコート	41
			女子シングルス(U-17)	久峰総合公園テニスコート	45
			男子シングルス(U-20)		35
			女子シングルス(U-20)		30
			男子ダブルス(U-14)		42
			女子ダブルス(U-14)		42
			男子ダブルス(U-17)		42
			女子ダブルス(U-17)		46
			男子ダブルス(U-20)		32
			女子ダブルス(U-20)		30
小計				469	

12	14～16	第36回 日本リーグ	男子団体	愛知県豊田市	63
			女子団体	スカイホール豊田	55
			小計		118
2	3	第64回全日本インドア選手権大会	男子ダブルス	大阪府大阪市	24
			女子ダブルス	大阪市中央体育館	24
			小計		48
	9・10	日本リーグ入替戦	男子団体	愛知県名古屋市	32
			女子団体	露橋スポーツセンター	25
			小計		57
3	26～28	第30回 都道府県対抗全日本中学生大会	男子団体	三重県伊勢市	768
			女子団体	三重県営サンアリーナ	768
			男子ダブルス	伊勢市市営庭球場	784
			女子ダブルス		768
			男子シングルス		768
			女子シングルス		768
			小計		4,624
	28～30	第44回全日本高等学校選抜大会	男子団体	愛知県豊田市	576
			女子団体	スカイホール豊田	576
			小計		1,152
	29～31	第18回 全国小学生大会	男子6年生の部	千葉県白子町	89
			女子6年生の部	千葉県白子町サニーテニスコート	86
			男子5年生の部		340
			女子5年生の部		340
			男子4年生以下の部		342
女子4年生以下の部				334	
小計			1,531		

技術等級認定実績

別表2

平成31年3月31日現在

支部名	名誉指導員	Ma	Ex	S-Ex	Sp	S-Sp	1級	2級	3級	4級	合計
1 北海道	0	0	3	0	14	0	11	31	23	0	82
2 青森県	0	0	0	0	2	0	0	16	40	23	81
3 岩手県	0	0	1	0	11	0	9	6	23	0	50
4 宮城県	0	0	0	0	10	1	2	15	30	0	58
5 秋田県	0	0	2	0	3	0	0	6	27	0	38
6 山形県	0	0	2	0	6	0	8	8	66	0	90
7 福島県	0	0	3	2	2	0	10	25	94	0	136
8 茨城県	0	0	2	0	5	0	5	73	28	6	119
9 栃木県	0	0	0	0	10	0	0	35	50	14	109
10 群馬県	0	0	0	1	15	0	10	39	44	133	242
11 埼玉県	0	0	2	2	8	2	34	84	93	56	281
12 千葉県	0	0	1	0	11	0	6	16	23	28	85
13 東京都	0	0	8	3	7	3	24	33	10	12	100
14 神奈川県	0	0	0	0	9	0	7	65	46	8	135
15 山梨県	0	0	0	0	2	0	6	35	41	69	153
16 新潟県	0	0	2	0	6	0	4	7	20	0	39
17 長野県	0	0	0	1	4	0	5	2	49	1,714	1,775
18 富山県	0	0	0	0	5	0	9	8	4	38	64
19 石川県	0	0	0	0	5	0	7	16	41	16	85
20 福井県	0	0	3	0	4	0	0	0	1	13	21
21 静岡県	0	0	3	1	3	3	5	10	42	0	67
22 愛知県	0	0	4	1	12	2	6	64	45	101	235
23 三重県	0	0	2	0	13	0	2	10	21	19	67
24 岐阜県	0	0	3	0	4	0	8	33	50	23	121
25 滋賀県	0	0	0	0	7	0	10	18	29	3	67
26 京都府	0	0	0	0	3	0	5	30	15	20	73
27 大阪府	0	0	3	1	10	2	2	77	18	4	117
28 兵庫県	0	0	2	0	3	0	18	72	19	19	133
29 奈良県	0	0	8	0	7	1	4	3	27	0	50
30 和歌山県	0	0	0	0	10	1	0	4	23	62	100
31 鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	3	1	19	23
32 島根県	0	0	0	0	8	0	6	1	1	22	38
33 岡山県	0	0	4	0	5	0	19	70	30	0	128
34 広島県	0	0	1	0	7	0	9	44	37	3	101
35 山口県	0	0	2	0	7	0	19	93	29	0	150
36 徳島県	0	0	1	0	1	0	12	15	27	0	56
37 香川県	0	0	4	0	12	0	3	8	4	17	48
38 愛媛県	0	0	0	2	3	0	2	10	20	50	87
39 高知県	0	0	0	0	0	0	1	1	0	19	21
40 福岡県	0	0	2	0	3	0	1	14	31	3	54
41 佐賀県	0	0	0	0	1	0	2	0	30	0	33
42 長崎県	0	0	1	0	2	0	6	12	24	20	65
43 熊本県	0	0	0	0	10	0	3	68	261	321	663
44 大分県	0	0	0	0	5	0	1	2	17	17	42
45 宮崎県	0	0	0	0	14	0	0	24	76	0	114
46 鹿児島県	0	0	0	0	9	0	0	2	28	0	39
47 沖縄県	0	0	0	0	2	0	3	4	43	0	52
48 日本学連	0	0	22	0	64	0	43	36	0	1	166
合計	0	0	91	14	364	15	347	1,248	1,701	2,873	6,653
前年度	0	0	67	11	346	15	361	1,335	1,640	3,186	6,961

公認審判員認定実績

別表3

平成31年3月31日現在

No	支部	認定者数									合計
		マスター レフェリー	マスター アンパイ ヤー	1級審判員		2級審判員				ジュニア	
				新規	更新	一般		高校			
						新規	更新	新規	移行		
1	北海道	2	4	3	3	128	203	188	699	2,200	3,430
2	青森県	0	0	3	7	45	158	16	57	211	497
3	岩手県	0	1	2	6	82	87	96	488	1,235	1,997
4	宮城県	0	0	2	5	59	352	120	453	1,506	2,497
5	秋田県	0	0	1	6	41	58	68	286	659	1,119
6	山形県	0	0	0	5	79	100	40	304	845	1,373
7	福島県	0	0	2	15	79	82	102	526	1,900	2,706
8	茨城県	0	0	3	9	59	727	95	109	303	1,305
9	栃木県	3	1	4	0	59	464	75	64	137	807
10	群馬県	0	3	3	2	53	348	72	108	343	932
11	埼玉県	1	3	4	10	272	823	388	708	3,294	5,503
12	千葉県	2	0	0	7	146	589	149	665	3,637	5,195
13	東京都	3	29	2	4	210	179	243	65	12	747
14	神奈川県	1	0	5	7	182	170	152	732	6,465	7,714
15	山梨県	0	0	1	0	67	259	57	44	51	479
16	新潟県	0	11	6	1	85	75	49	434	1,999	2,660
17	長野県	0	2	1	2	58	515	124	49	116	867
18	富山県	4	0	1	3	47	321	36	0	38	450
19	石川県	1	1	1	5	38	135	81	245	770	1,277
20	福井県	2	0	4	4	19	115	11	27	46	228
21	静岡県	0	10	4	4	113	124	159	463	3,657	4,534
22	愛知県	2	0	3	3	258	1,026	205	77	384	1,958
23	三重県	1	0	0	3	28	196	54	32	61	375
24	岐阜県	0	0	0	7	27	307	84	56	139	620
25	滋賀県	1	0	7	1	76	492	55	22	99	753
26	京都府	0	0	3	1	49	506	65	55	69	748
27	大阪府	0	0	8	6	93	245	186	29	43	610
28	兵庫県	0	0	2	4	194	60	155	7	50	472
29	奈良県	0	0	0	9	58	305	99	48	26	545
30	和歌山県	0	0	1	0	117	6	60	20	108	312
31	鳥取県	0	0	2	3	17	7	27	32	27	115
32	島根県	0	0	0	3	15	222	13	28	46	327
33	岡山県	4	14	4	6	57	779	60	74	83	1,081
34	広島県	0	0	3	1	42	995	211	60	83	1,395
35	山口県	1	1	0	3	47	456	102	83	125	818
36	徳島県	0	0	0	1	12	164	21	19	80	297
37	香川県	2	0	0	0	24	223	40	41	68	398
38	愛媛県	1	0	1	7	38	21	97	42	316	523
39	高知県	0	0	0	2	26	107	28	17	20	200
40	福岡県	2	1	2	0	80	403	103	104	370	1,065
41	佐賀県	2	3	1	0	34	25	55	236	900	1,256
42	長崎県	1	0	1	9	148	87	75	339	1,217	1,877
43	熊本県	0	0	4	2	45	96	45	393	1,310	1,895
44	大分県	1	2	0	2	75	210	55	118	1,135	1,598
45	宮崎県	0	0	2	3	50	306	84	53	116	614
46	鹿児島県	3	1	5	2	69	82	86	50	176	474
47	沖縄県	0	0	0	0	20	38	46	45	246	395
48	日本学連	0	0	0	0	553	0	604	0	0	1,157
合計		40	87	101	183	4,173	13,248	5,036	8,606	36,721	68,195
前年度		60	72	61	174	4,631	13,857	5,490	8,193	35,524	68,062

会員登録集計表（平成30年度）

平成31年3月31日現在

別表4

支部名	指導者 会員数	一般		小学生		中学生		高校生		高専		大学生		合 計	
		団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
北海道	295	175	2,223	38	611	261	7,410	144	3,304	4	111	0	19	622	13,973
青 森	286	50	486	17	240	95	3,116	44	919	1	5	1	0	208	5,052
岩 手	361	60	1,075	30	434	125	3,554	68	1,799	1	35	0	8	284	7,266
宮 城	138	89	1,003	23	486	175	5,252	77	2,571	2	34	3	115	369	9,599
秋 田	250	38	486	17	438	74	2,072	38	912	1	21	0	5	168	4,184
山 形	179	40	581	20	432	68	2,538	42	1,193	1	4	1	21	172	4,948
福 島	443	77	651	32	630	151	5,656	68	1,700	1	35	0	2	329	9,117
茨 城	495	72	879	23	605	209	9,064	82	2,279	1	3	0	4	387	13,329
栃 木	40	35	749	18	465	116	4,101	50	1,284	0	23	0	23	219	6,685
群 馬	228	46	880	23	740	148	5,668	47	1,179	0	0	0	7	264	8,702
埼 玉	260	210	3,852	35	1,164	377	17,729	127	4,155	0	1	0	161	749	27,322
千 葉	764	111	1,706	23	498	338	15,814	118	3,327	1	15	0	28	591	22,152
東 京	173	139	3,040	23	377	188	5,120	177	4,706	1	7	0	108	528	13,531
神奈川	695	91	1,040	17	427	356	18,749	135	3,220	0	0	0	5	599	24,136
山 梨	104	51	518	14	275	46	953	30	888	0	0	0	21	141	2,759
新 潟	220	54	828	26	489	155	4,166	62	1,305	1	11	0	2	298	7,021
長 野	164	37	1,304	16	346	120	3,864	66	1,589	1	22	0	3	240	7,292
富 山	140	23	341	17	395	59	2,147	27	916	0	0	0	1	126	3,940
石 川	44	50	641	22	388	65	3,076	37	1,068	1	1	1	41	176	5,259
福 井	41	31	338	5	168	40	1,212	15	535	1	9	0	2	92	2,305
静 岡	697	121	1,462	33	853	312	12,111	83	1,634	2	19	0	7	551	16,783
愛 知	274	172	2,948	22	770	354	17,867	142	5,441	0	36	0	11	690	27,347
三 重	132	54	601	14	296	142	5,647	49	1,364	1	16	0	27	260	8,083
岐 阜	62	63	851	25	567	253	6,016	49	1,861	0	0	0	10	390	9,367
滋 賀	113	30	499	14	359	78	955	38	1,357	0	0	0	5	160	3,288
京 都	123	87	763	15	338	98	2,889	56	1,643	0	0	0	1	256	5,757
大 阪	328	91	1,547	10	221	306	11,177	190	3,273	0	0	0	7	597	16,553
兵 庫	266	83	1,433	22	393	302	15,128	145	4,960	2	38	0	1	554	22,219
奈 良	126	30	814	9	148	62	2,510	29	925	0	0	0	1	130	4,524
和歌山	204	57	676	18	383	102	2,975	33	945	1	28	0	0	211	5,211
鳥 取	73	34	391	11	164	38	998	23	595	1	14	0	0	107	2,235
島 根	82	48	374	14	276	47	1,562	41	838	1	0	0	1	151	3,133
岡 山	175	57	537	13	248	138	5,526	67	2,184	1	37	0	0	276	8,707
広 島	309	127	1,330	16	271	151	5,305	97	2,806	2	39	0	76	393	10,136
山 口	172	72	1,212	11	327	104	4,305	52	1,522	3	83	1	16	243	7,637
徳 島	145	24	307	10	183	92	1,895	23	532	1	27	0	0	150	3,089
香 川	42	28	383	10	243	51	2,258	29	757	2	14	0	1	120	3,698
愛 媛	152	37	613	15	305	128	3,963	62	1,318	1	75	0	4	243	6,430
高 知	63	27	352	10	136	30	918	21	482	1	3	0	13	89	1,967
福 岡	613	76	1,054	16	325	198	6,886	139	2,698	4	76	1	45	434	11,697
佐 賀	239	28	359	15	340	73	2,473	41	855	0	0	0	2	157	4,268
長 崎	457	60	900	16	369	147	3,916	101	1,891	2	29	0	71	326	7,633
熊 本	450	67	804	17	351	136	4,031	57	1,430	2	33	1	4	280	7,103
大 分	209	57	547	14	262	100	2,180	29	726	0	13	0	51	200	3,988
宮 崎	298	63	526	25	429	156	3,075	41	956	1	18	0	2	286	5,304
鹿児島	344	106	908	41	449	178	4,164	76	1,322	2	40	1	45	404	7,272
沖 縄	71	43	640	11	106	48	1,108	28	300	1	16	1	30	132	2,271
日本学連	4	0	5	0	0	0	0	0	0	1	23	420	6,607	421	6,639
合 計	11,543	3,221	45,457	886	18,720	6,990	253,099	3,195	83,464	50	1,014	431	7,614	14,773	420,911
昨年度	11,278	3,204	46,143	872	19,568	7,029	268,007	3,211	85,176	49	1,069	443	7,876	14,808	439,117

平成30年度

決算報告書

(平成30年4月 1日～平成31年3月31日)

財務諸表等

(1)貸借対照表

平成31年3月31日現在

単位:円

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	52,977,644	94,426,806	△ 41,449,162
未収金	50,581,320	49,464,631	1,116,689
貯蔵品	8,052,673	10,560,243	△ 2,507,570
流動資産合計	111,611,637	154,451,680	△ 42,840,043
2. 固定資産			
(1)基本財産	150,000,000	150,000,000	0
定期預金	48,564,000	48,564,000	0
投資有価証券	101,436,000	101,436,000	0
基本財産合計	150,000,000	150,000,000	0
(2)特定資産	337,813,296	276,897,096	60,916,200
退職給付引当資産	17,813,296	16,897,096	916,200
資産取得資金積立金	185,000,000	130,000,000	55,000,000
修繕積立金	5,000,000	0	5,000,000
国際大会積立金	130,000,000	130,000,000	0
特定資産合計	337,813,296	276,897,096	60,916,200
(3)その他固定資産	140,426,553	141,539,745	△ 1,113,192
建物及び付属設備	78,198,339	79,789,713	△ 1,591,374
器具備品	644,886	166,704	478,182
土地	61,583,328	61,583,328	0
その他固定資産	140,426,553	141,539,745	△ 1,113,192
固定資産合計	628,239,849	568,436,841	59,803,008
資産合計	739,851,486	722,888,521	16,962,965
II 負債の部			
1. 流動負債	5,353,058	8,915,672	△ 3,562,614
未払金	3,018,641	6,039,359	△ 3,020,718
預り金	309,356	546,116	△ 236,760
前受金	206,880	220,000	△ 13,120
賞与引当金	1,818,181	2,110,197	△ 292,016
流動負債合計	5,353,058	8,915,672	△ 3,562,614
2. 固定負債	20,669,151	19,738,676	930,475
退職給付引当金	20,669,151	19,738,676	930,475
固定負債合計	20,669,151	19,738,676	930,475
負債合計	26,022,209	28,654,348	△ 2,632,139
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	713,829,277	694,234,173	19,595,104
(うち基本財産への充当額)	(150,000,000)	(150,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(320,000,000)	(260,000,000)	(60,000,000)
正味財産合計	713,829,277	694,234,173	19,595,104
負債及び正味財産合計	739,851,486	722,888,521	16,962,965

(2) 正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

単位：円

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	564,413	65,729	498,684
会費収入	285,379,500	294,549,000	△ 9,169,500
事業収入	148,176,704	156,690,748	△ 8,514,044
補助金等収入	86,279,341	88,356,485	△ 2,077,144
協賛金寄付金収入	39,750,000	35,300,000	4,450,000
雑収入	6,189,476	5,744,537	444,939
経常収益計	566,339,434	580,706,499	△ 14,367,065
(2) 経常費用			
事業費	225,353,838	219,126,778	6,227,060
管理費	122,252,068	116,288,972	5,963,096
加盟費	753,580	734,876	18,704
競技力向上費	170,199,120	157,820,616	12,378,504
指導者育成事業費	7,720,090	5,258,202	2,461,888
大会開催等関係費	18,030,416	21,807,767	△ 3,777,351
スポーツマスターズ参加支援費	812,026	5,880,996	△ 5,068,970
減価償却費	1,623,192	1,606,192	17,000
経常費用計	546,744,330	528,524,399	18,219,931
評価損益等調整前当期経常増減額	19,595,104	52,182,100	△ 32,586,996
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等 計	0	0	0
当期経常増減額	19,595,104	52,182,100	△ 32,586,996
2. 経常外増減の部	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	19,595,104	52,182,100	△ 32,586,996
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
法人税等調整額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	19,595,104	52,182,100	△ 32,586,996
一般正味財産期首残高	694,234,173	642,052,073	52,182,100
一般正味財産期末残高	713,829,277	694,234,173	19,595,104
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	713,829,277	694,234,173	19,595,104

(3)正味財産増減計算書内訳表
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

区 分	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1). 経常収益			
基本財産運用収入	564,413		564,413
会費収入	210,341,702	75,037,798	285,379,500
事業収入	148,176,704		148,176,704
補助金等収入	86,279,341		86,279,341
協賛金寄付金収入	39,750,000		39,750,000
雑収入	6,189,476		6,189,476
経常収益計	491,301,636	75,037,798	566,339,434
(2). 経常費用			
事業費	471,706,532	0	471,706,532
役員報酬	1,830,000	0	1,830,000
給料	12,819,896	0	12,819,896
職員手当等	7,244,494	0	7,244,494
退職給付費用	923,707	0	923,707
福利厚生費	3,717,457	0	3,717,457
賞与引当金繰入	1,109,090	0	1,109,090
旅費交通費	123,774,784	0	123,774,784
通信運搬費	4,088,887	0	4,088,887
支払手数料	1,643,942	0	1,643,942
減価償却費	990,147	0	990,147
会議費	11,924,274	0	11,924,274
備品購入費	24,862	0	24,862
消耗品費	26,680,708	0	26,680,708
印刷製本費	17,330,145	0	17,330,145
光熱水費	1,279,859	0	1,279,859
賃借料	17,010,980	0	17,010,980
保険料	591,726	0	591,726
諸謝金	5,335,000	0	5,335,000
報償費	9,115,893	0	9,115,893
租税公課	3,799,775	0	3,799,775
支払負担金	60,248,046	0	60,248,046
支払助成金	121,218,214	0	121,218,214
委託費	35,039,623	0	35,039,623
渉外交際費	680,295	0	680,295
雑費	3,284,728	0	3,284,728

区 分	公益目的事業会計	法人会計	合計
管理費	0	75,037,798	75,037,798
役員報酬	0	1,170,000	1,170,000
給料	0	8,196,328	8,196,328
職員手当等	0	4,631,726	4,631,726
退職給付費用	0	590,568	590,568
福利厚生費	0	2,376,735	2,376,735
賞与引当金繰入	0	709,091	709,091
旅費交通費	0	3,828,087	3,828,087
通信運搬費	0	4,799,998	4,799,998
支払手数料	0	5,828,522	5,828,522
減価償却費	0	633,045	633,045
会議費	0	8,995,505	8,995,505
備品購入費	0	15,897	15,897
消耗品費	0	1,111,697	1,111,697
印刷製本費	0	1,304,420	1,304,420
光熱水費	0	818,272	818,272
賃借料	0	0	0
保険料	0	207,904	207,904
諸謝金	0	0	0
報償費	0	0	0
租税公課	0	2,429,365	2,429,365
支払負担金	0	0	0
支払助成金	0	0	0
委託費	0	26,433,400	26,433,400
渉外交際費	0	84,082	84,082
雑費	0	873,156	873,156
経常費用計	471,706,532	75,037,798	546,744,330
当期経常増減額	19,595,104	0	19,595,104
2. 経常外増減の部	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	19,595,104	0	19,595,104
一般正味財産期首残高	288,553,699	405,680,474	694,234,173
一般正味財産期末残高	308,148,803	405,680,474	713,829,277
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
当期指定正味財産期首残高	0	0	0
当期指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	308,148,803	405,680,474	713,829,277

(4) 財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ① 満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)によっている。
但し、取得価額と債券金額との差額について重要性が乏しい場合は、償却原価法を適用していない。
- ② その他の有価証券……期末日の市場価額等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- ① 貯蔵品……個別法による原価法によっている。

(3) 有形固定資産の減価償却の方法

法人税法で規定する定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

- ① 退職給付引当金……職員の退職給付に備えるため、退職給与の当期末要支給額に相当する金額を計上している。
- ② 賞与引当金……職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産・特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	48,564,000	0	0	48,564,000
投資有価証券	101,436,000	0	0	101,436,000
小計	150,000,000	0	0	150,000,000
特定資産				
退職給付引当資産				
定期預金	16,897,096	1,500,000	583,800	17,813,296
有価証券	0	0	0	0
資産取得資金積立金	130,000,000	55,000,000	0	185,000,000
修繕積立金	0	5,000,000	0	5,000,000
国際大会積立金	130,000,000	0	0	130,000,000
小計	276,897,096	61,500,000	583,800	337,813,296
合計	426,897,096	61,500,000	583,800	487,813,296

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	48,564,000		(48,564,000)	
投資有価証券	101,436,000		(101,436,000)	
小計	150,000,000		(150,000,000)	
特定資産				
退職給付引当資産	17,813,296			(17,813,296)
資産取得資金積立金	185,000,000		(185,000,000)	
修繕積立金	5,000,000		(5,000,000)	
国際大会積立金	130,000,000		(130,000,000)	
小計	337,813,296		(320,000,000)	(17,813,296)
合計	487,813,296		(470,000,000)	(17,813,296)

4. 担保に供している資産

該当事項なし

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高(直接法により減価償却を行なっている)
(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物及び附属設備	88,409,655	10,211,316	78,198,339
什器備品	1,308,215	663,329	644,886
合計	89,717,870	10,874,645	78,843,225

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

(単位:円)

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収入金	50,581,320	0	50,581,320
合計	50,581,320	0	50,581,320

7. 保証債務等の偶発債務

該当事項なし

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次の通りである。

(単位:円)

科目	内訳	帳簿価額	時価	評価損益
投資有価証券	第163回利付国債(20年)	101,436,000	105,504,500	4,068,500
合計		101,436,000	105,504,500	4,068,500

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次の通りである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
日本スポーツマスターズ委託金交付金	(公財)日本スポーツ協会	0	346,840	346,840	0	-
公認コーチ養成講習会委託金	同上	0	621,641	621,641	0	-
スポーツ指導者育成事業交付金	同上	0	58,000	58,000	0	-
スポーツ振興基金助成金	(独法)日本スポーツ振興センター	0	5,123,000	5,123,000	0	-
スポーツ振興くじ助成金	同上	0	55,225,000	55,225,000	0	-
30年度選手強化委託金	(公財)日本オリンピック委員会	0	11,517,000	11,517,000	0	-
30年度JOCジュニア強化交付金	同上	0	200,000	200,000	0	-
マーケティングプログラム交付金	同上	0	10,964,000	10,964,000	0	-
国民体育大会役員旅費	福井しあわせ元気国体実行委員会	0	783,860	783,860	0	-
全日本若手キャンプ助成金	(公財)ヨネックススポーツ振興財団	0	440,000	440,000	0	-
ジュニア育成に対する助成金	(公財)ミズノスポーツ振興財団	0	1,000,000	1,000,000	0	-
合計		0	86,279,341	86,279,341	0	-

10. 重要な後発事象

該当事項なし

(5) 附属明細書

1. 基本財産および特定資産

基本財産および特定資産の明細については、財務諸表の注記において記載している。

2. 引当金の明細

引当金の当期の増減額および残高は、次の通りである。

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	2,110,197	1,818,181	2,110,197	0	1,818,181
退職給付引当金	19,738,676	1,514,275	583,800	0	20,669,151

3. その他貸借対照表及び正味財産増減計算書の内容を補足する重要な事項

該当事項はない。

(6) 財産目録

(平成31年3月31日現在)

単位：円

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	現金手許有高	運転資金として	456,265	
	普通預金	三菱UFJ銀行 大井町支店	同上	24,109	
		三菱UFJ銀行 渋谷中央支店	同上	36,407,768	
		静岡銀行 大井町支店	同上	3,592,396	
		青梅信用金庫 本店	同上	116,938	
		枚方信用金庫 本店	同上	145,278	
		芝信用金庫 大井支店	同上	16,114	
		三菱UFJ銀行 大井町支店	同上	3,479,930	
	定期預金	静岡銀行 大井町支店	同上	8,627,080	
		ゆうちょ銀行	同上	111,766	
	郵便振替		(現金預金計)	52,977,644	
	未収金	スポーツ振興センター他	公益目的事業・受取補助金他 未収分として	37,616,864	
		イーコンテキスト他	公益目的事業・審判、技術等級 認定料他未収分として	12,964,456	
		(未収金計)	50,581,320		
貯蔵品	明宏印刷株式会社他	公益目的事業・審判、技術等級 認定用教材、用品として	8,052,673		
		(貯蔵品計)	8,052,673		
流動資産合計				111,611,637	
(固定資産)	基本財産	定期預金	三菱UFJ銀行 大井町支店	公益目的保有財産であり運用益 を公益目的事業の財源に充当	10,000,000
			静岡銀行 大井町支店		8,564,000
			青梅信用金庫 本店		10,000,000
			枚方信用金庫 本店		10,000,000
			芝信用金庫 大井町支店		10,000,000
	投資有価証券	第163回利付国債(20年)		公益目的保有財産であり運用益 を公益目的事業の財源に充当	101,436,000
				(基本財産計)	150,000,000
	特定資産	退職給付引当資産	定期預金・三菱UFJ銀行 大井町支店	職員の退職金支出のため保有。 公益目的事業と運営管理業務 の財源に使用	17,813,296
		資産取得資金積立金	定期預金 三菱UFJ銀行、大和ネクスト銀行	資産取得用積立であり、運用益を公益 目的事業の財源に充当	185,000,000
		修繕積立金	定期預金 静岡銀行 大井町支店	公益目的事業と運営管理業務 の財源に使用	5,000,000
		国際大会積立金	定期預金 大和ネクスト銀行	国際大会開催用積立であり、運用益 を公益目的事業の財源に充当	130,000,000
				(特定資産計)	337,813,296
	その他固定資産	建物及び付属設備	ブリリア大井町ラヴィアンタワー 鉄筋コンクリート造2階 東京都品川区大井1-16-2-201 149.79平米	公益目的事業と運営管理目的 に使用する財産	78,198,339
器具備品			ブリリア大井町ラヴィアンタワー内ラック	公益目的事業と運営管理目的 に使用する財産	151,884
土地		スピードラップ・超音波治療器・光電管	全て公益目的事業のため使用	493,002	
		ブリリア大井町ラヴィアンタワー用地 東京都品川区大井1-16-2-201 共有持分 24.86平米	公益目的事業と運営管理目的 に使用する財産	61,583,328	
			(その他固定資産計)	140,426,553	
固定資産合計				628,239,849	
資産合計				739,851,486	
(流動負債)	未払金	品川税務署他	公益目的事業と運営管理業務 に関する消費税等の未払分として	2,697,656	
		強化スタッフ他	公益目的事業・運営管理業務に関する 旅費他未払分として	320,985	
			(未払金計)	3,018,641	
	預り金 前受金 賞与引当金	品川税務署 ミズノ他 職員分	源泉徴収税他預り分として 広告料・機関誌購読料として 公益目的事業と運営管理業務 に従事する職員の賞与として	309,356 206,880 1,818,181	
流動負債合計				5,353,058	
(固定負債)	退職給付引当金	職員分	公益目的事業と運営管理業務 に従事する職員の退職給付金として	20,669,151	
固定負債合計				20,669,151	
負債合計				26,022,209	
正味財産				713,829,277	

独立監査人の監査報告書

令和元年5月21日

公益財団法人日本ソフトテニス連盟

会長 安道 光二 殿

櫻井公認会計士事務所

公認会計士



<財務諸表監査>

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づく監査に準じて、公益財団法人日本ソフトテニス連盟の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年事業年度の貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドラインI-5（1）の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）並びにその附属明細書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私の責任は、私が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

<財産目録に対する意見>

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づく監査に準じて、公益財団法人日本ソフトテニス連盟の平成31年3月31日現在の平成30年事業年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監査人の責任

私の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

財産目録に対する監査意見

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

利害関係

公益財団法人日本ソフトテニス連盟と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

令和元年 5 月 22 日

監 査 報 告 書

公益財団法人日本ソフトテニス連盟
会 長 安道 光二 殿

公益財団法人日本ソフトテニス連盟

監事 井上 清一 
監事 山本 毅 
監事 鈴木正彦 

私たち監事は、平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

- (1) 各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を読覧し、業務及び財産の状況を調査しました。
- (2) 当該事業年度に係る事業報告及び会計帳簿及び財務諸表(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書ならびに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 財務諸表及び附属明細書ならびに財産目録の監査結果

財務諸表及び附属明細書ならびに財産目録の監査結果は、法人の財産および損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上